



# 指数を使った配当・テーマ型投資戦略 から見る投資機会

ジェイソン・イ、CFA協会認定証券アナリスト  
ディレクター、ファクター・テーマ型指数部門

2023年11月13日

S&P Dow Jones  
Indices

A Division of  S&P Global

S&P Dow Jones Indices – For Financial Professionals Only

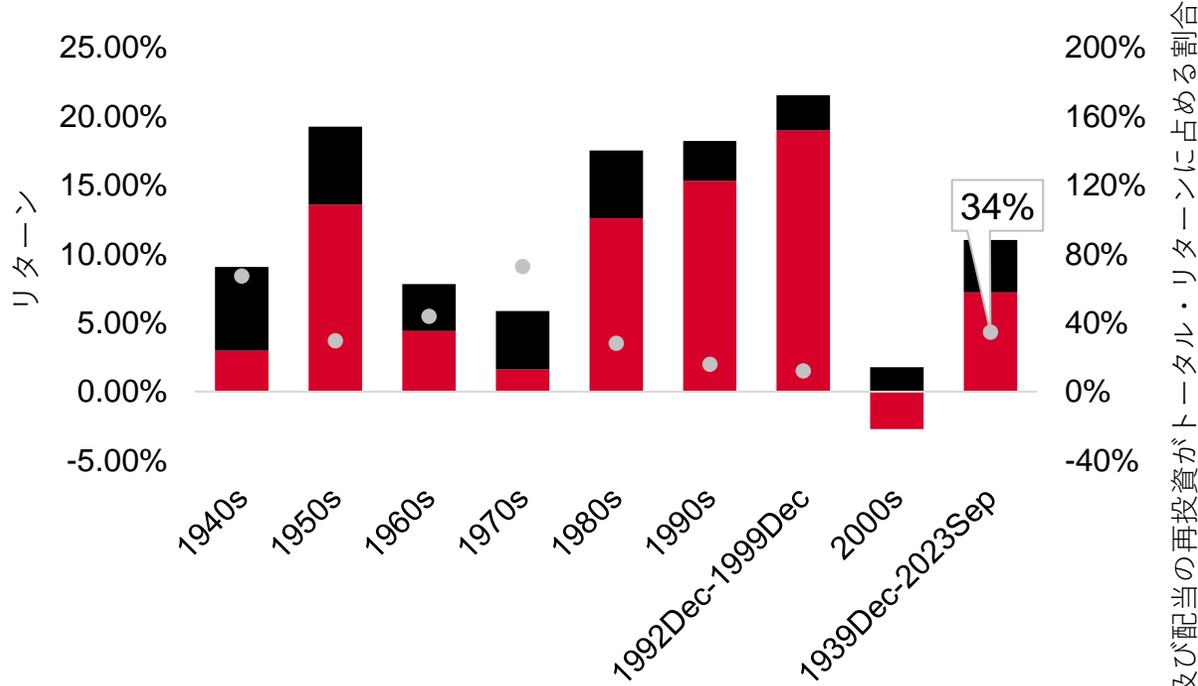
# 配当

# なぜ配当が重要なのか？

# なぜ配当が重要なのか？

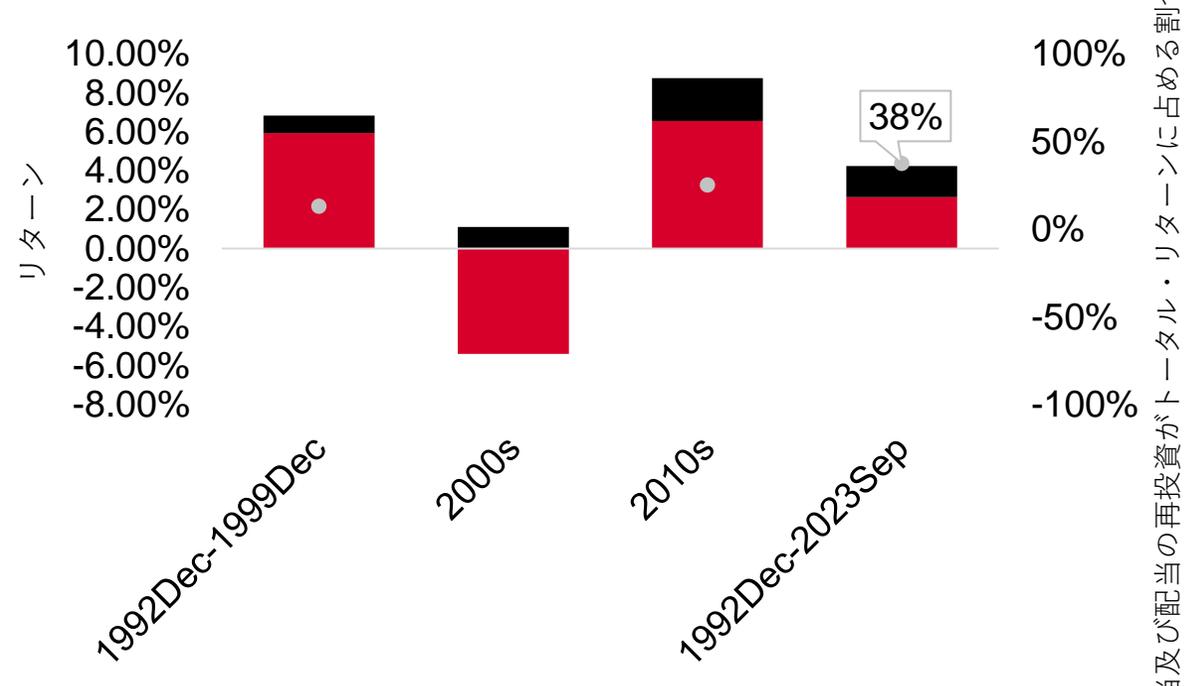
## 株式トータル・リターンの重要な源泉

米国 (S&P 500)



- 配当及び配当の再投資のリターン
- 価格リターン
- 配当及び配当の再投資がトータル・リターンに占める割合 (右軸)

日本 (S&P 日本500)



- 配当及び配当の再投資のリターン
- 価格リターン
- 配当及び配当の再投資がトータル・リターンに占める割合 (右軸)

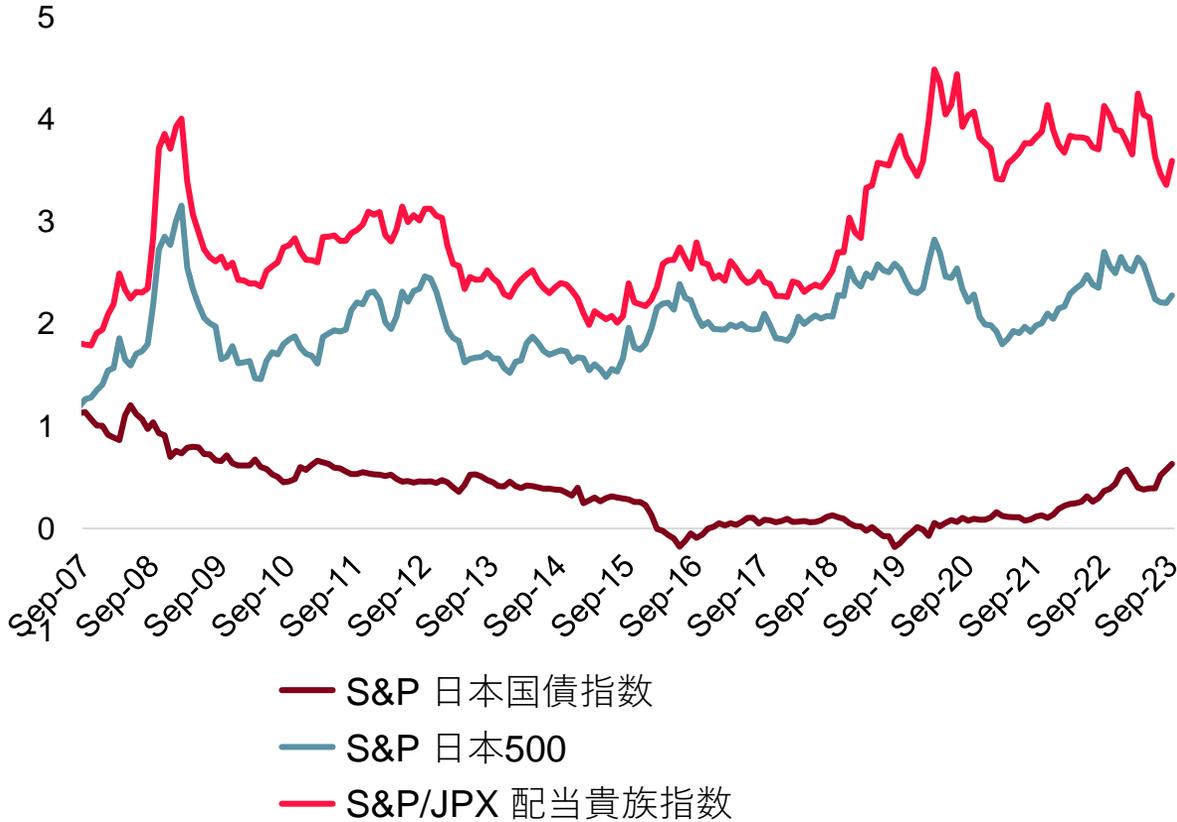
\*2000年代はリターンがマイナスであったため、配当及び配当の再投資がトータル・リターンに占める割合は計算されていません。

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。1939年12月31日から2023年9月30日までのデータ。指数のパフォーマンスは現地通貨建ての月次トータル・パフォーマンスに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

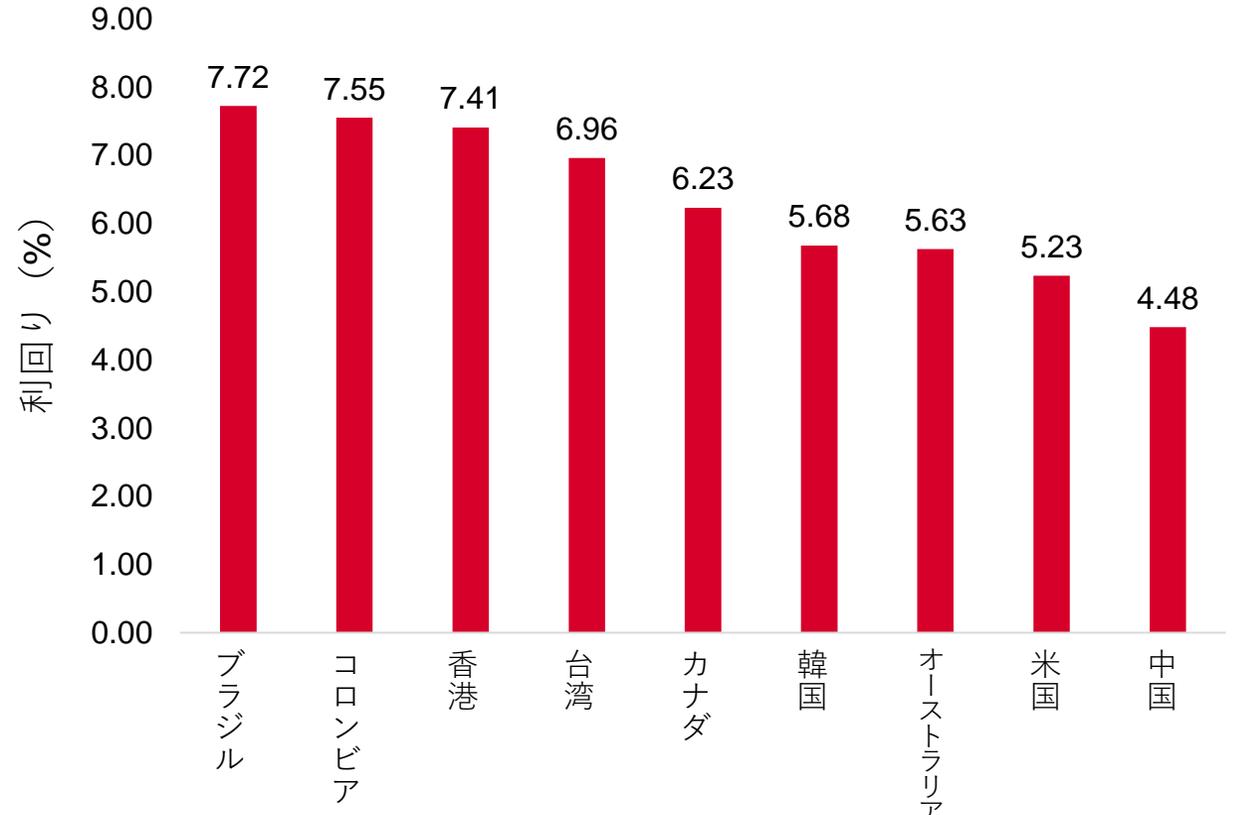
# なぜ配当が重要なのか？

## インカム収入の代替源

利回り



各国の高利回り戦略の直近12ヵ月の配当利回り



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2023年9月30日現在のデータ。ブラジルはS&P/B3 低ボラティリティ高配当指数、香港はS&P アクセス香港低ボラティリティ高配当指数、コロンビアはS&P コロンビア配当指数、韓国はS&P 韓国配当オポチュニティーズ指数、台湾はダウ・ジョーンズ台湾ハイ・クオリティ配当30指数、オーストラリアはS&P/ASX サステナビリティ・スクリーンド配当オポチュニティーズ指数、カナダはS&P/TSX コンポジット低ボラティリティ高配当指数、中国はS&P 中国A株低ボラティリティ高配当指数、米国はS&P 500低ボラティリティ高配当指数に基づいています。

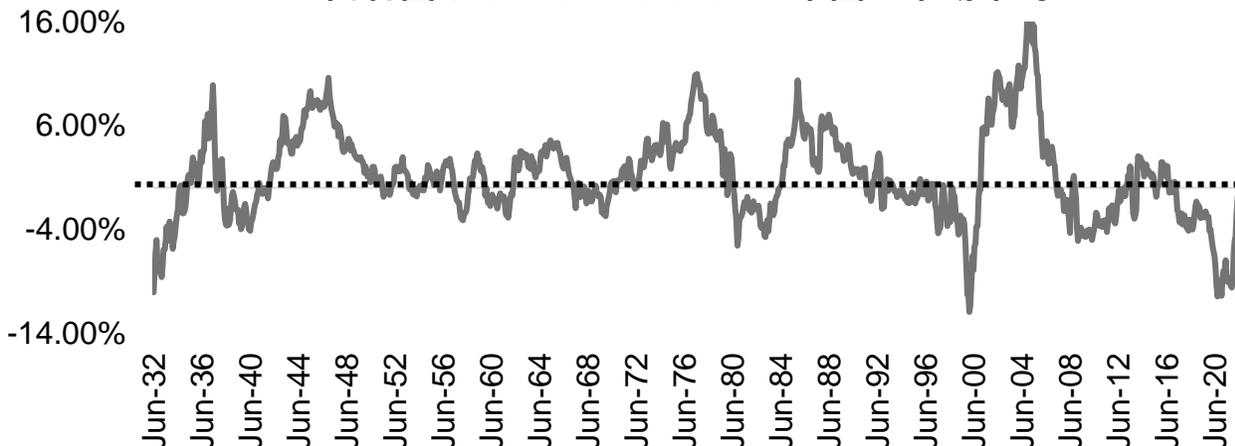
# なぜ配当が重要なのか？

## 長期にわたり市場平均をアウトパフォーマンス

5年ローリング超過リターン  
S&P 配当貴族指数 – S&P 500



5年ローリング超過リターン  
高利回りポートフォリオ – 米国の市場平均



	配当成長		高利回り				
	S&P 500配当貴族 – S&P 500	配当なし – 市場	低配当1 – 市場	低配当2 – 市場	中配当 – 市場	高配当4 – 市場	高配当5 – 市場
観測回数	277	1087	1087	1087	1087	1087	1087
平均	<b>2.18%</b>	-0.32%	-0.49%	0.19%	0.20%	<b>1.63%</b>	<b>1.19%</b>
標準誤差	0.26%	0.23%	0.09%	0.06%	0.07%	0.09%	0.13%
T統計量	8.35	-1.35	-5.41	3.31	2.78	17.91	9.18
アウトパフォーマンスした回数	201	477	521	530	659	763	633
アウトパフォーマンスした割合	<b>72.56%</b>	43.88%	47.93%	48.76%	60.63%	<b>70.19%</b>	<b>58.23%</b>

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。ケン・フレンチ・データ・ライブラリー。2022年12月31日現在のデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# 配当戦略

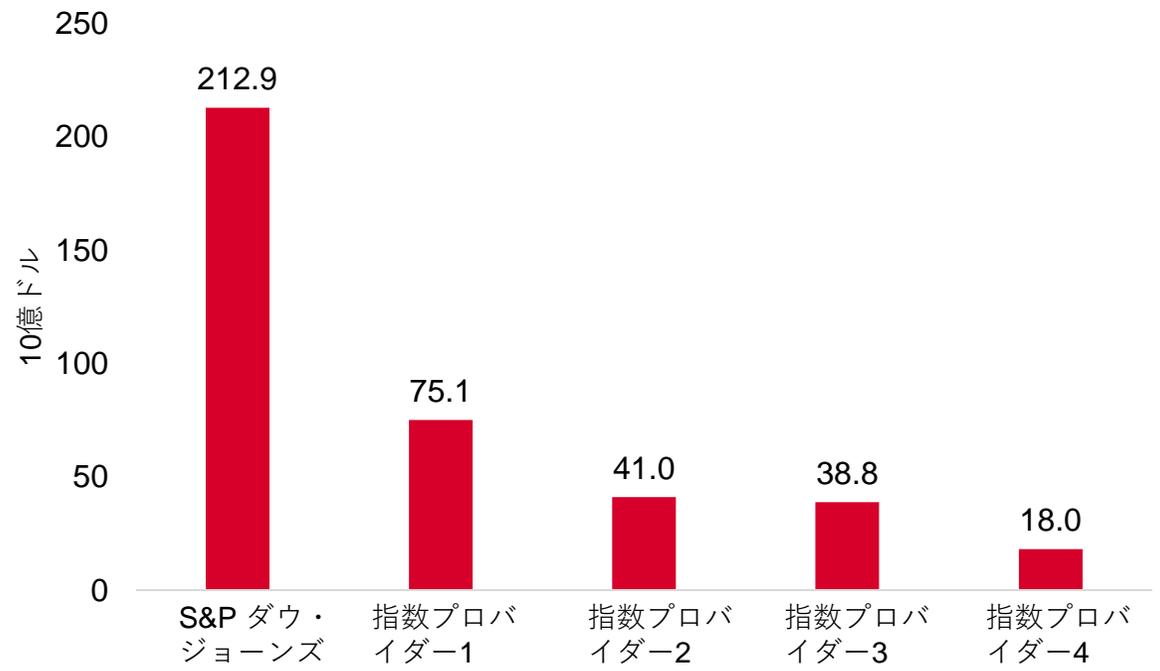
# 配当ETF市場

配当ETF資産の50%以上はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの配当指数に連動している

2023年6月30日時点で、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの配当指数に連動するETF（米国、カナダ、国際及び新興国市場の主要ETF）の運用資産残高は合計**2,129億ドル**に達した

## 世界の配当ETFの運用資産残高

(指数プロバイダー別)



ランク	名称	主なベンチマーク
1	ETF商品1	S&P 米国配当成長指数TR USD
2		
3	ETF商品2	ダウ・ジョーンズ米国配当100 TR USD
4		
5	ETF商品3	S&P 高配当貴族TR USD
6	ETF商品4	ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当 TR USD
7		
8		
9	ETF商品5	S&P 500配当貴族TR USD
10		

S&P Dow Jones Indices 出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2023年6月30日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。  
A Division of S&P Global

# S&P 500配当貴族指数

# S&P 配当貴族指数ファミリー

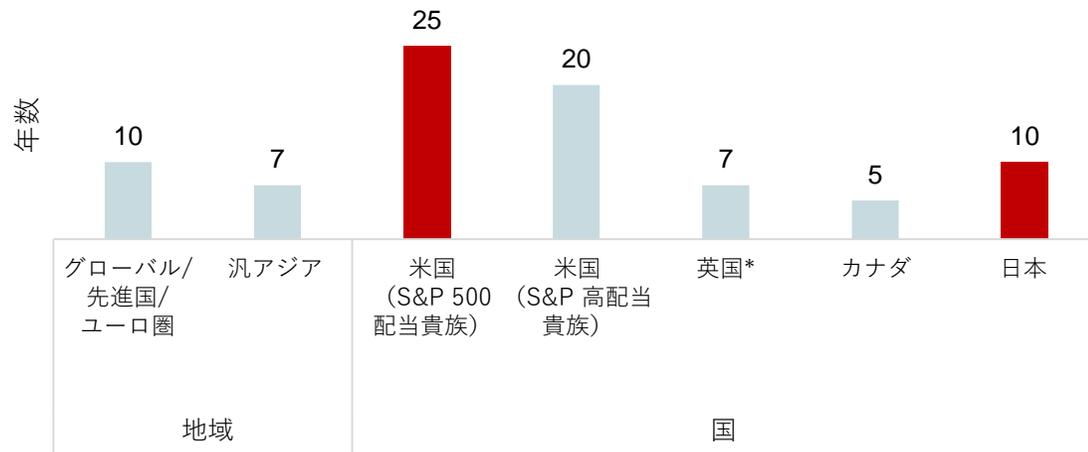
## 指数ファミリーの紹介

- S&P 配当貴族®指数は、一定年数連続して増配しているか、配当を維持している企業のパフォーマンスを測定する
- 配当貴族指数ファミリーの構成は以下の通り：

地域	指数	国	指数
グローバル	S&P グローバル配当貴族 S&P グローバル配当貴族クオリティ・インカム	米国	S&P 500配当貴族 S&P 高配当貴族
先進国	S&P 先進国配当貴族	英国	S&P 英国高配当貴族
ユーロ圏	S&P ユーロ高配当貴族	カナダ	S&P/TSX カナダ配当貴族
汎アジア	S&P 汎アジア配当貴族	日本	S&P/JPX 配当貴族

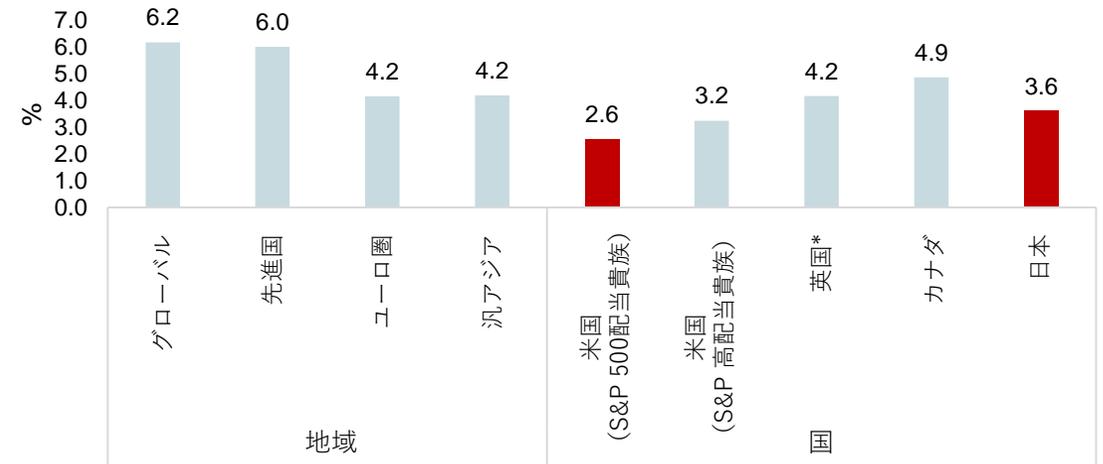
### 増配または配当の維持に関する要件

必要な連続増配年数または配当維持年数



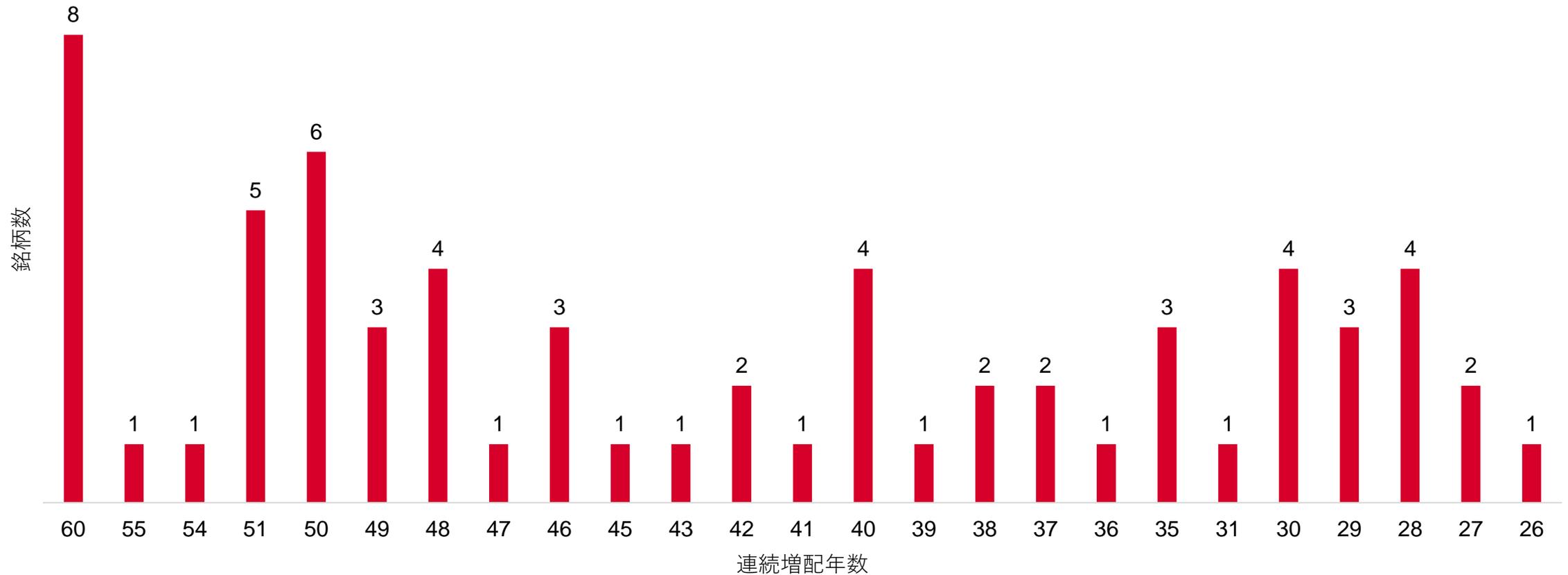
### S&P 配当貴族指数の配当利回り

直近12カ月の配当利回り



# S&P 500配当貴族指数

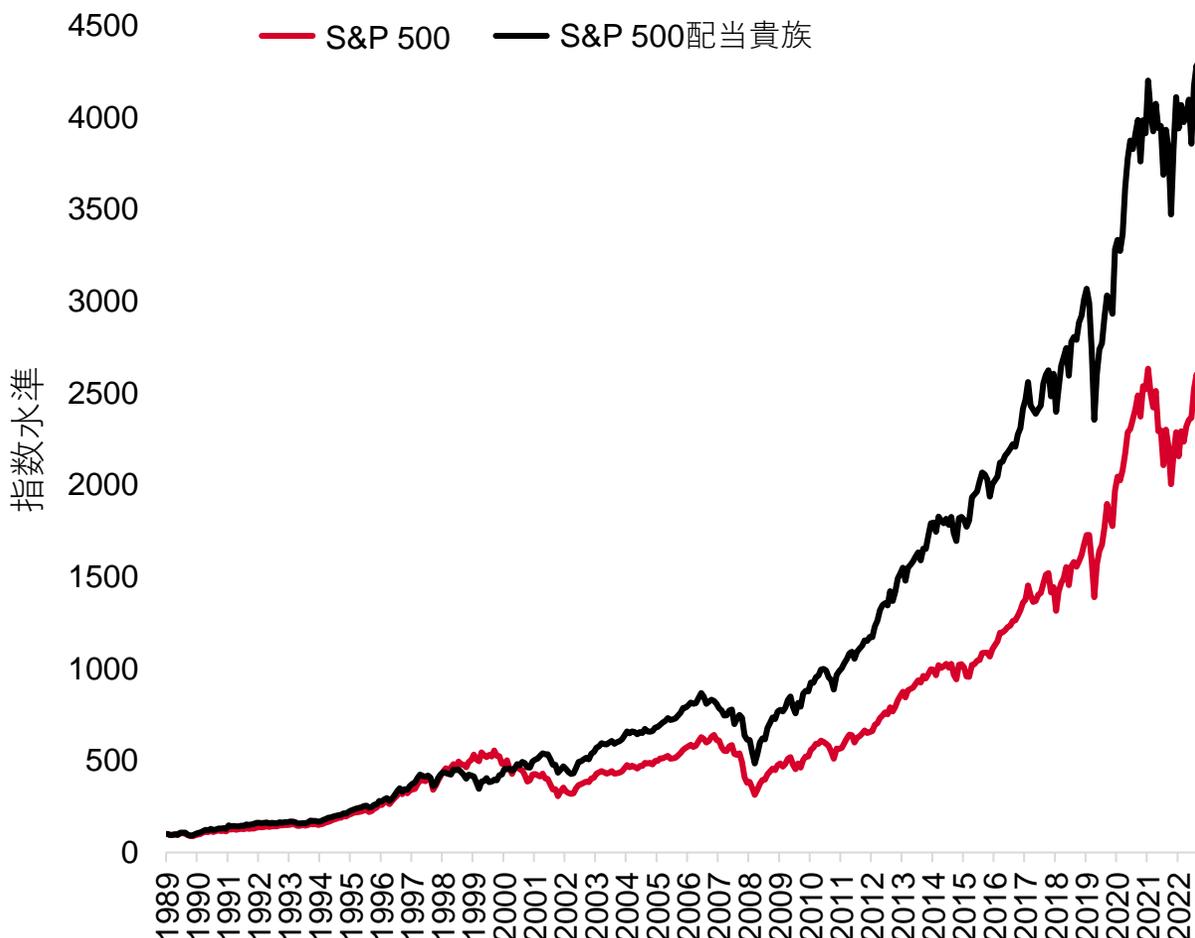
## 長期にわたる連続増配実績



# S&P 500配当貴族指数

## 長期にわたりS&P 500をアウトパフォーム

1989年12月31日の水準を100として指数化



S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。1989年12月31日から2023年9月30日までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

### S&P 500に対する超過リターン

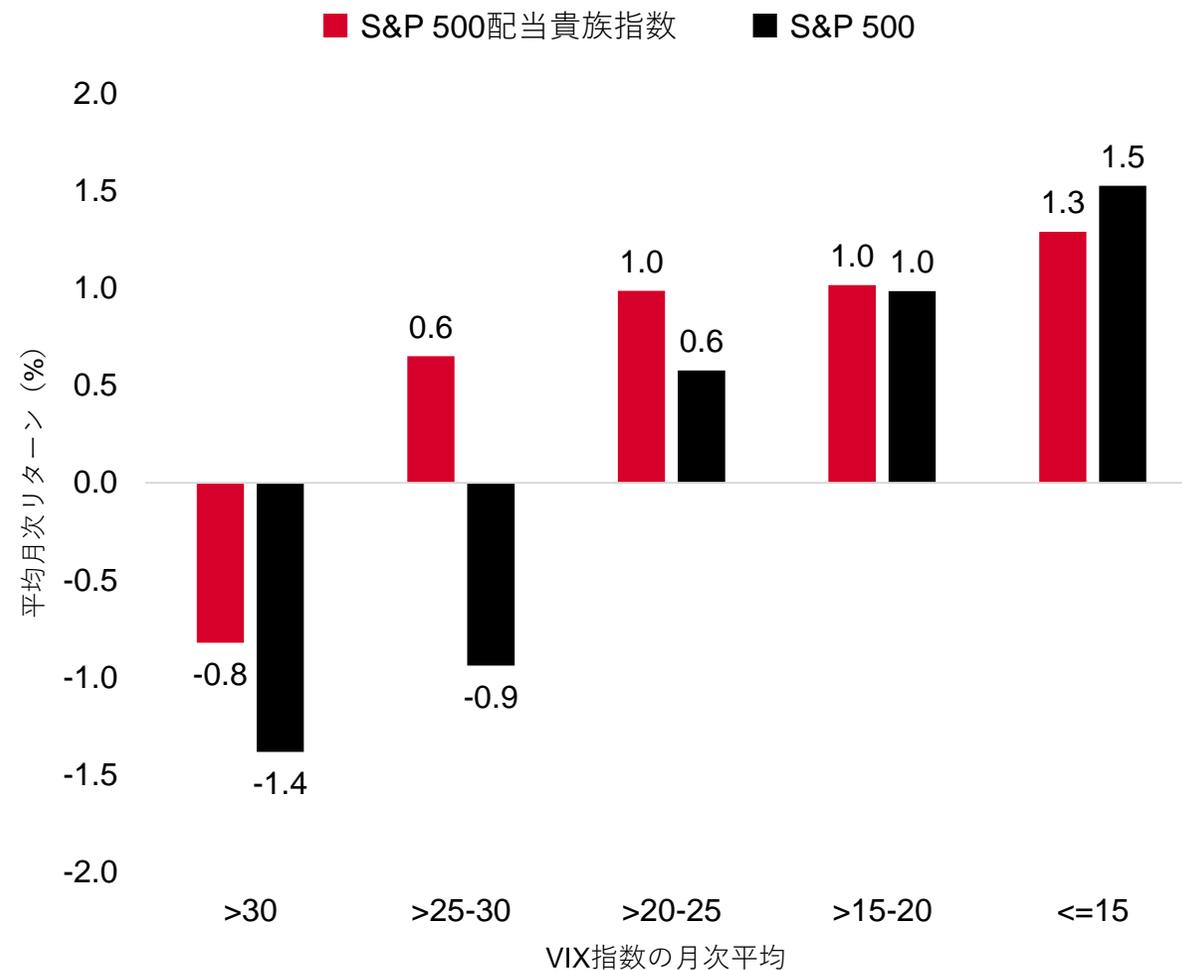
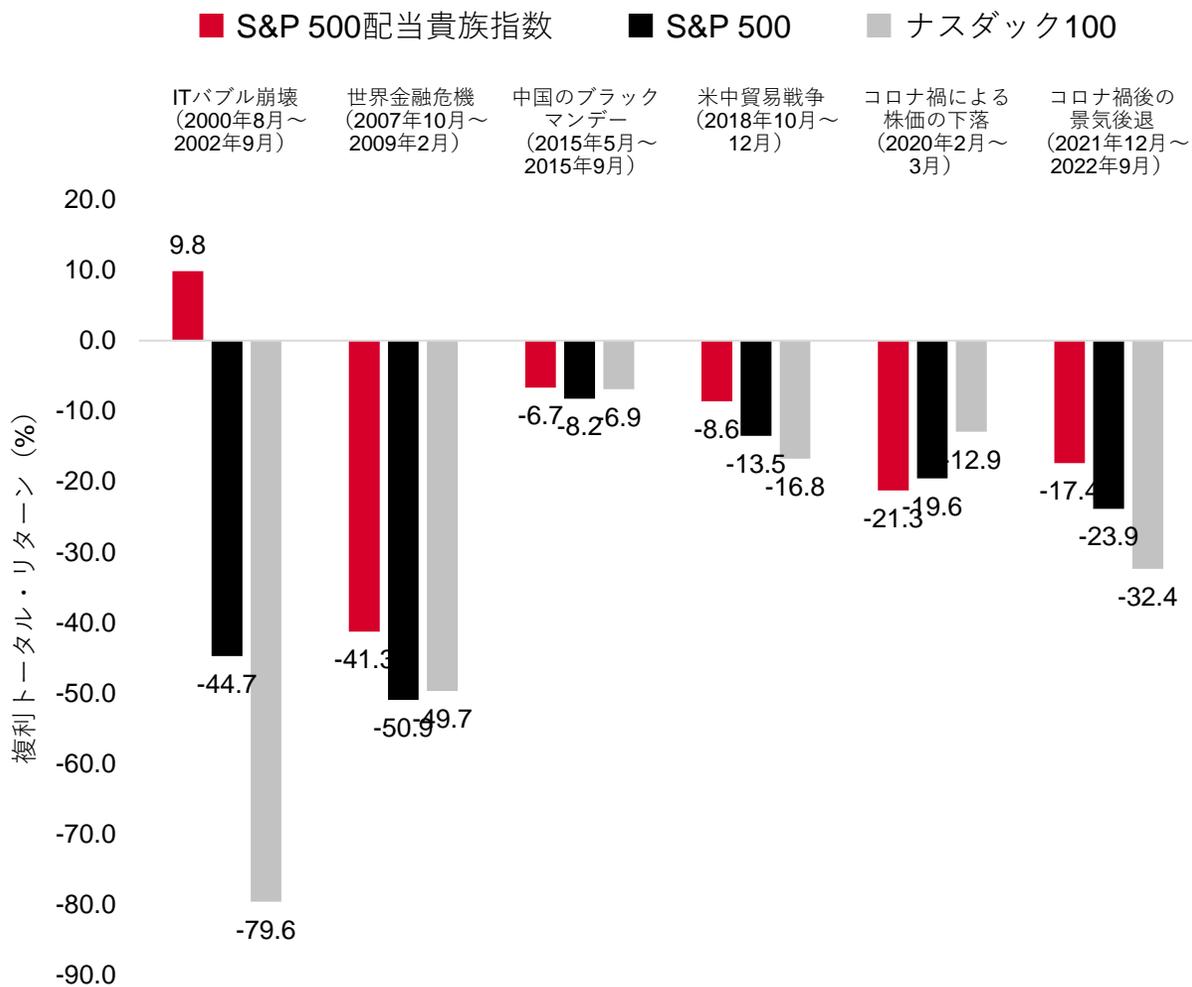
	1年ローリング	3年ローリング	5年ローリング	10年ローリング	15年ローリング
観測回数	394	370	346	286	226
S&P 500をアウトパフォームした月の数	221	209	222	236	226
S&P 500をアウトパフォームした月の割合	56.1%	56.5%	64.2%	82.5%	100.0%
平均超過リターン	1.3%	1.3%	1.5%	2.2%	2.6%

### 市場の上昇/下落局面におけるパフォーマンス

	観測回数	S&P 500をアウトパフォームした月の数	勝率	平均超過リターン
S&P 500が上昇した月	266	116	43.6%	-0.37%
S&P 500が下落した月	139	95	68.3%	1.02%

# S&P 500配当貴族指数

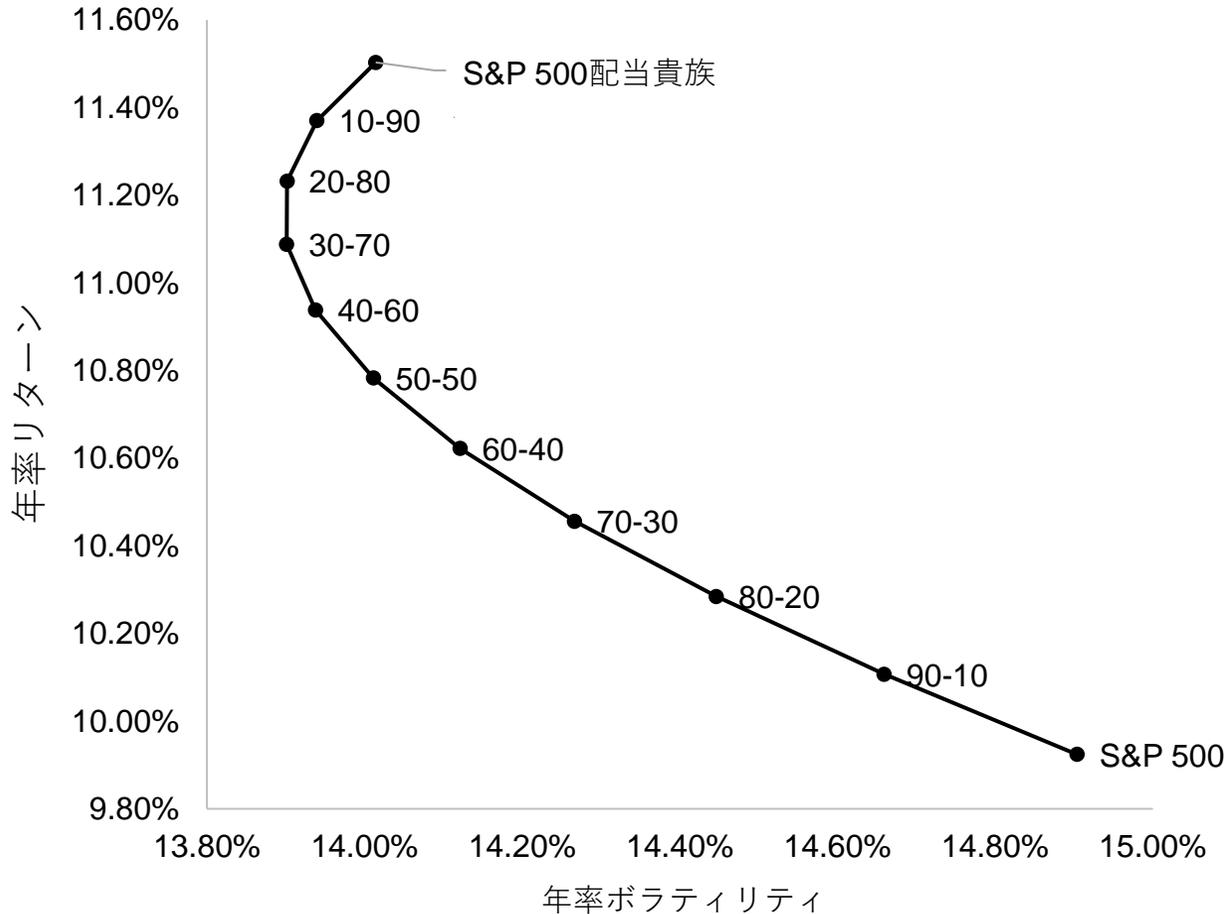
## ディフェンシブな特性



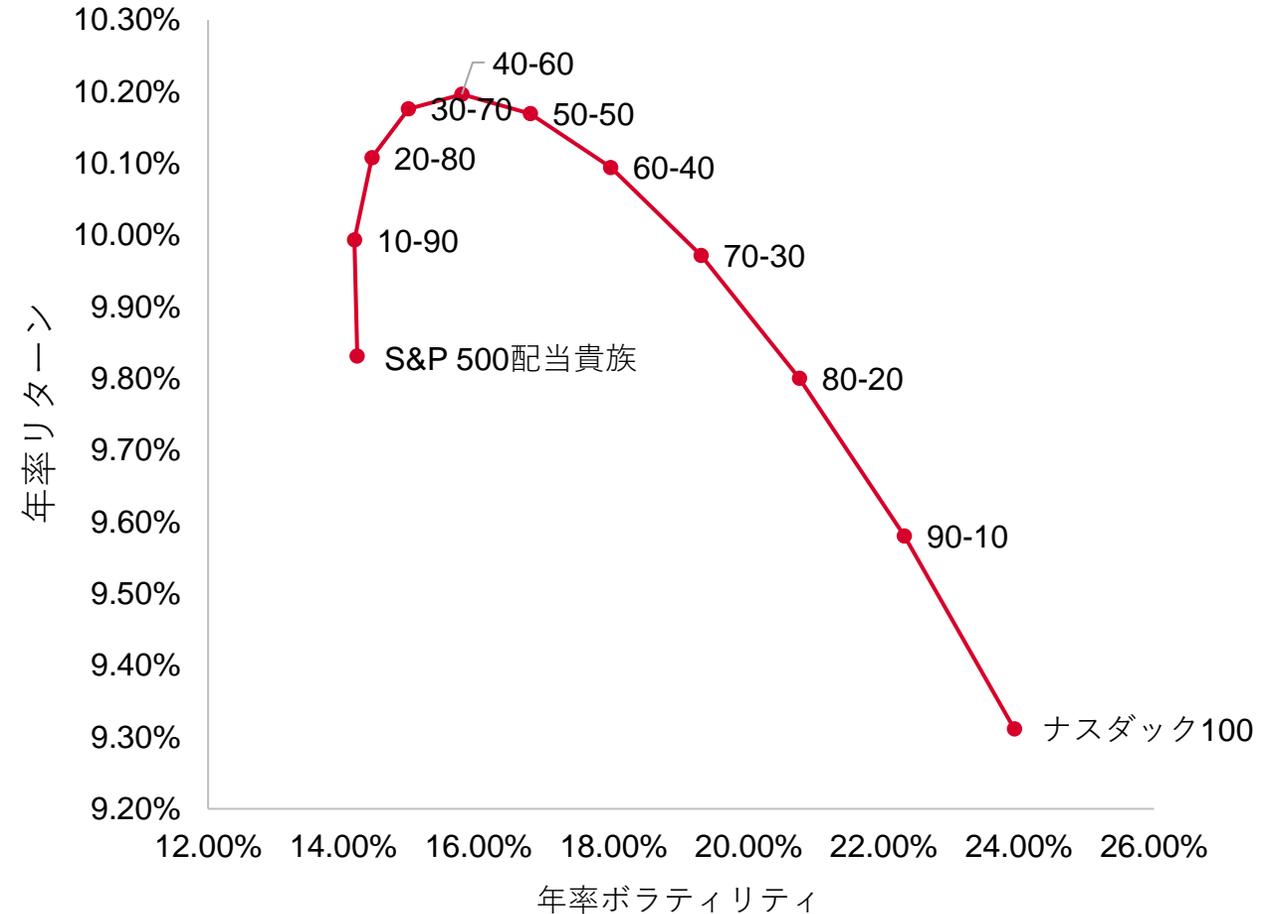
# S&P 500配当貴族指数

S&P 500配当貴族指数と他の指数を組み合わせることで、リスク・リターン特性が改善

**S&P 配当貴族指数 + S&P 500**  
(1989年12月31日から2023年9月30日まで)



**S&P 配当貴族指数 + ナスダック100**  
(1999年3月31日から2023年9月30日まで)



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。1989年12月31日から2023年9月30日までの配当利回りのデータに基づいています。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P 配当君主指数

# S&P 配当君主指数

## 指数メソドロジー

ユニバース：**S&P コンポジット1500**

時価総額：浮動株調整後時価総額（FMC）が20億ドル以上

流動性：リバランス参照日までの3ヵ月間の1日当たり平均売買代金（ADVT）が500万ドル以上

安定性基準：

- 配当の伸び：指数構成銘柄は少なくとも**50年**連続で毎年増配している必要がある。

構成銘柄の選択：適格要件を満たした全ての銘柄

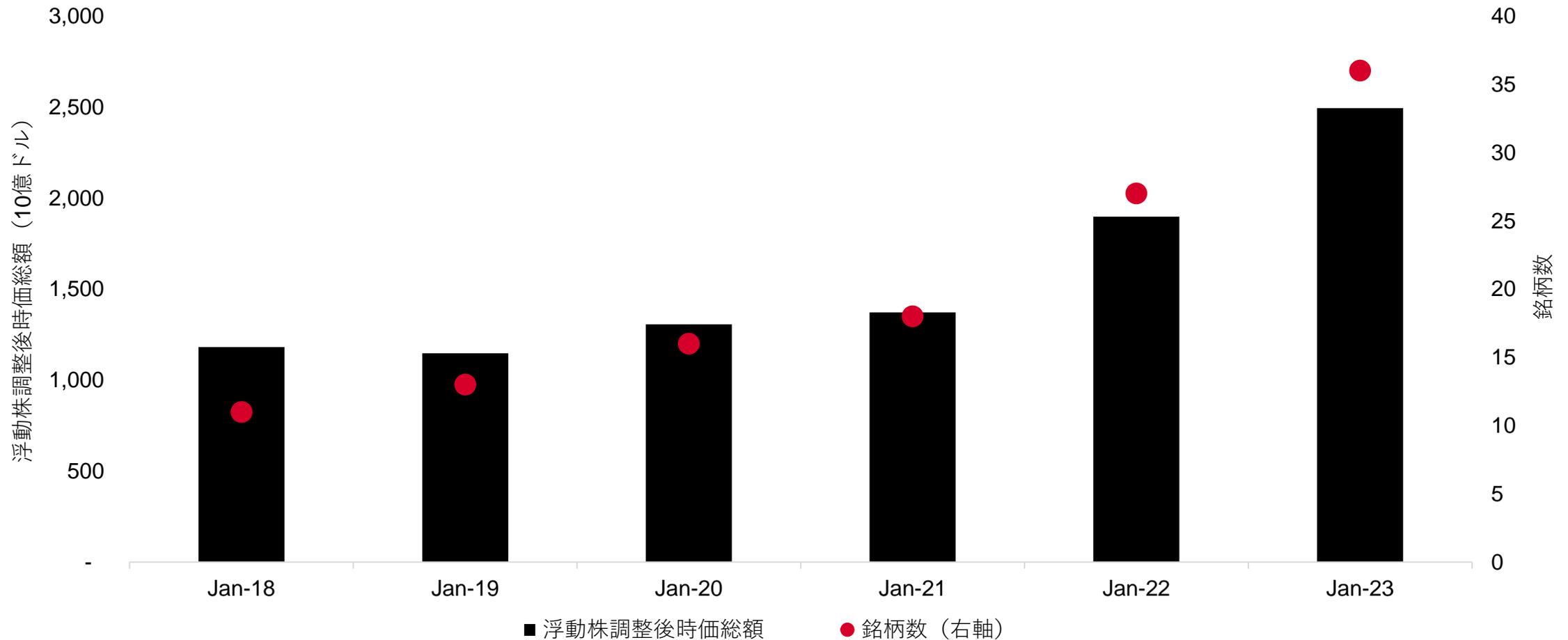
構成銘柄のウェイト付け：年間配当利回りに基づいてウェイトを設定し、単一の構成銘柄に対して5%のウェイト上限を設ける

リバランス：毎年1月にリバランスを行い、四半期ごとに再ウェイト付けを行う

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2023年9月30日現在のデータ。

# S&P 配当君主指数

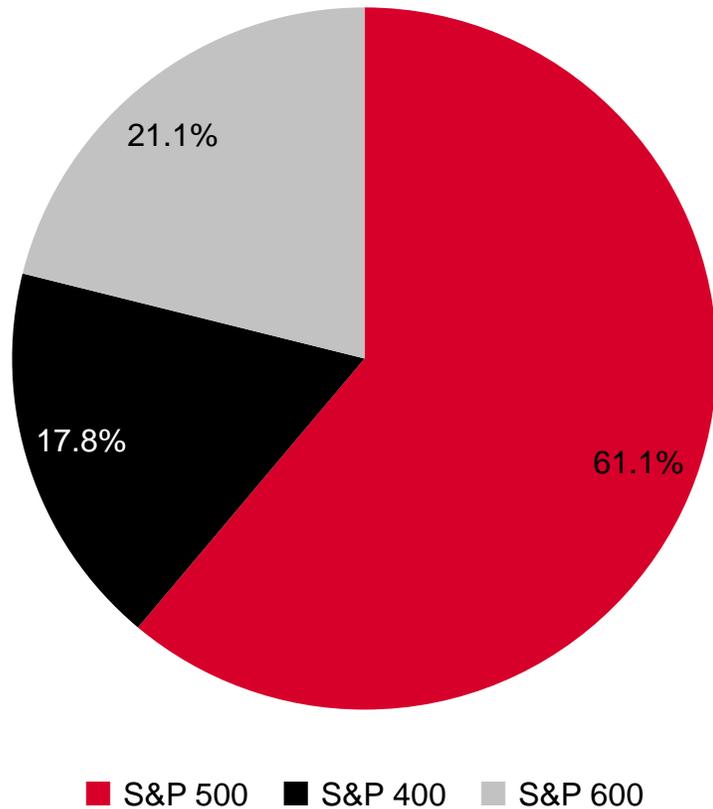
少なくとも**50年**連続で毎年増配



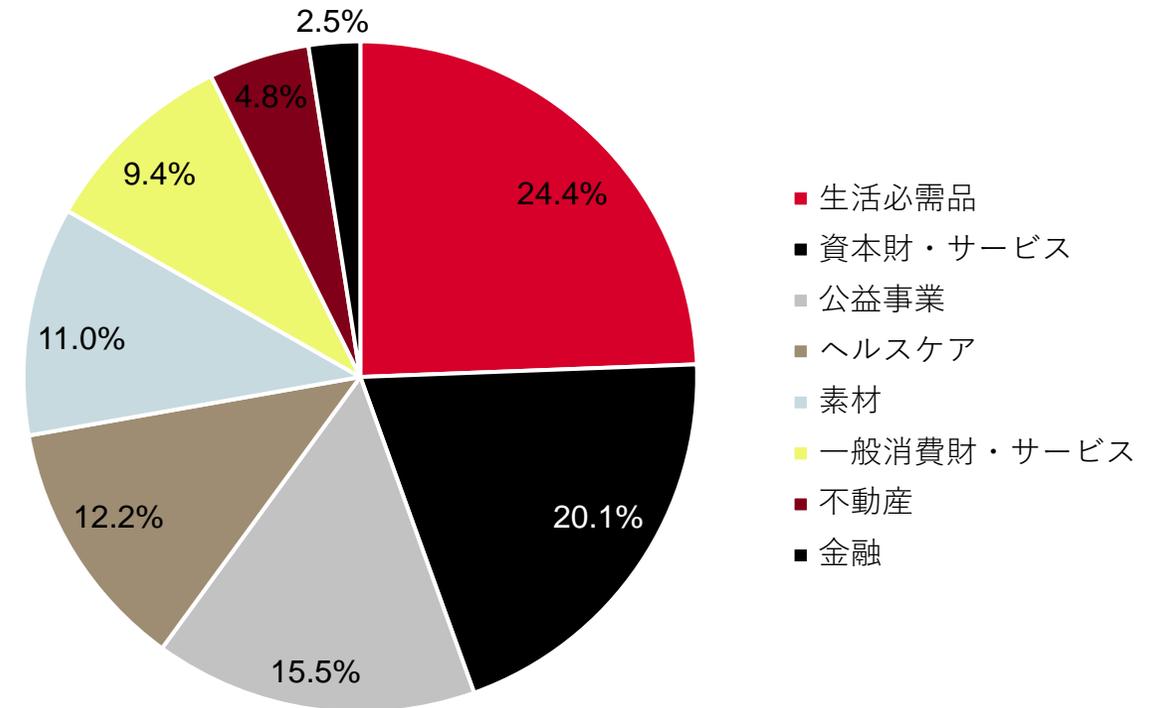
# S&P 配当君主指数

## 時価総額の分布とセクター一配分

指数全体に占める大型株、中型株、及び  
小型株のウェイト (%)



指数全体に占める各GICSセクターのウェイト (%)



# S&P 配当君主指数

## 長期組入銘柄

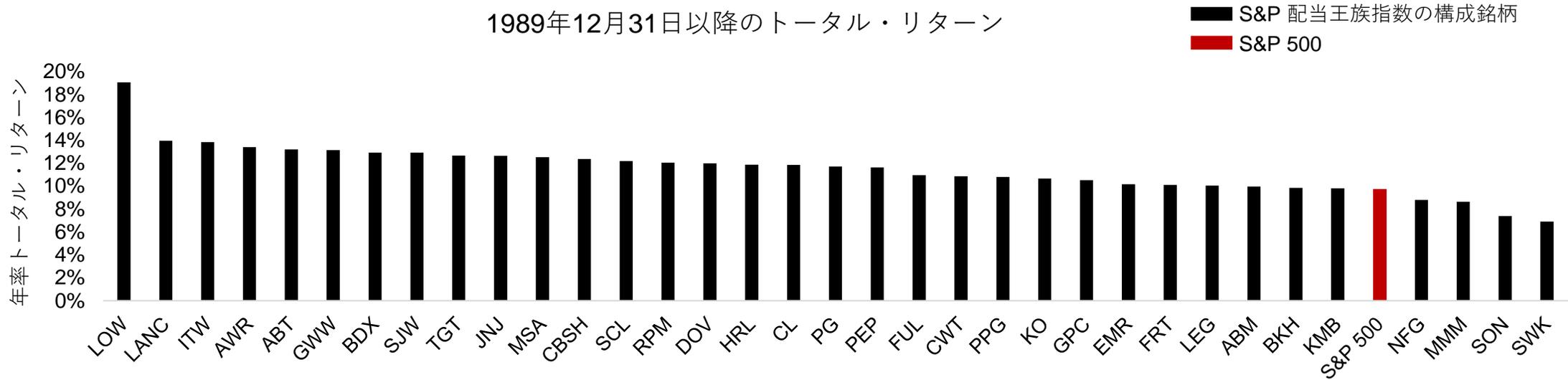
# 会社名	GICSセクター	ウェイト	# 会社名	GICSセクター	ウェイト
1 AbbVie Inc.	ヘルスケア	5.7%	19 Commerce Bancshares Inc (MO)	金融	2.5%
2 3M Co	資本財・サービス	5.0%	20 RPM International Inc.	素材	2.4%
3 Federal Realty Invt Trust	不動産	4.8%	21 Illinois Tool Works Inc	資本財・サービス	2.3%
4 National Fuel Gas	公益事業	4.8%	22 ABM Industries Inc	資本財・サービス	2.3%
5 Leggett & Platt	一般消費財・サービス	4.8%	23 SJW Group	公益事業	2.2%
6 Black Hills Corp	公益事業	4.3%	24 California Water Services Group	公益事業	2.2%
7 Sonoco Products Co	素材	4.0%	25 Lowe's Cos Inc	一般消費財・サービス	2.1%
8 Kimberly-Clark	生活必需品	3.7%	26 American States Water Co	公益事業	2.0%
9 Stanley Black & Decker	資本財・サービス	3.7%	27 Abbott Laboratories	ヘルスケア	2.0%
10 Coca-Cola Co	生活必需品	3.4%	28 PPG Industries Inc	素材	1.8%
11 Target Corp	生活必需品	3.4%	29 Lancaster Colony Corp	生活必需品	1.8%
12 Hormel Foods Corp	生活必需品	3.2%	30 Becton Dickinson & Co	ヘルスケア	1.6%
13 Johnson & Johnson	ヘルスケア	3.0%	31 Dover Corp	資本財・サービス	1.6%
14 PepsiCo Inc	生活必需品	3.0%	32 Stepan Co	素材	1.5%
15 Emerson Electric Co	資本財・サービス	3.0%	33 Fuller H.B. Co	素材	1.3%
16 Procter & Gamble	生活必需品	2.9%	34 MSA Safety Inc	資本財・サービス	1.3%
17 Colgate-Palmolive Co	生活必需品	2.8%	35 W.W. Grainger Inc	資本財・サービス	1.0%
18 Genuine Parts Co	一般消費財・サービス	2.5%	36 Kenvue Inc.	生活必需品	0.2%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2023年9月30日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

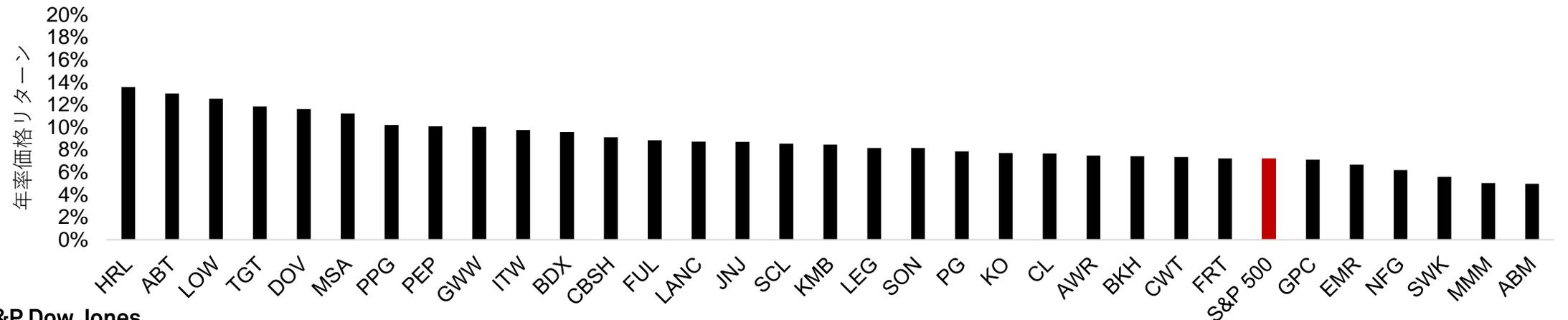
# S&P 配当君主指数

配当君主指数のほとんどの構成銘柄がS&P 500をアウトパフォーム

1989年12月31日以降のトータル・リターン



1972年12月31日以降の価格リターン

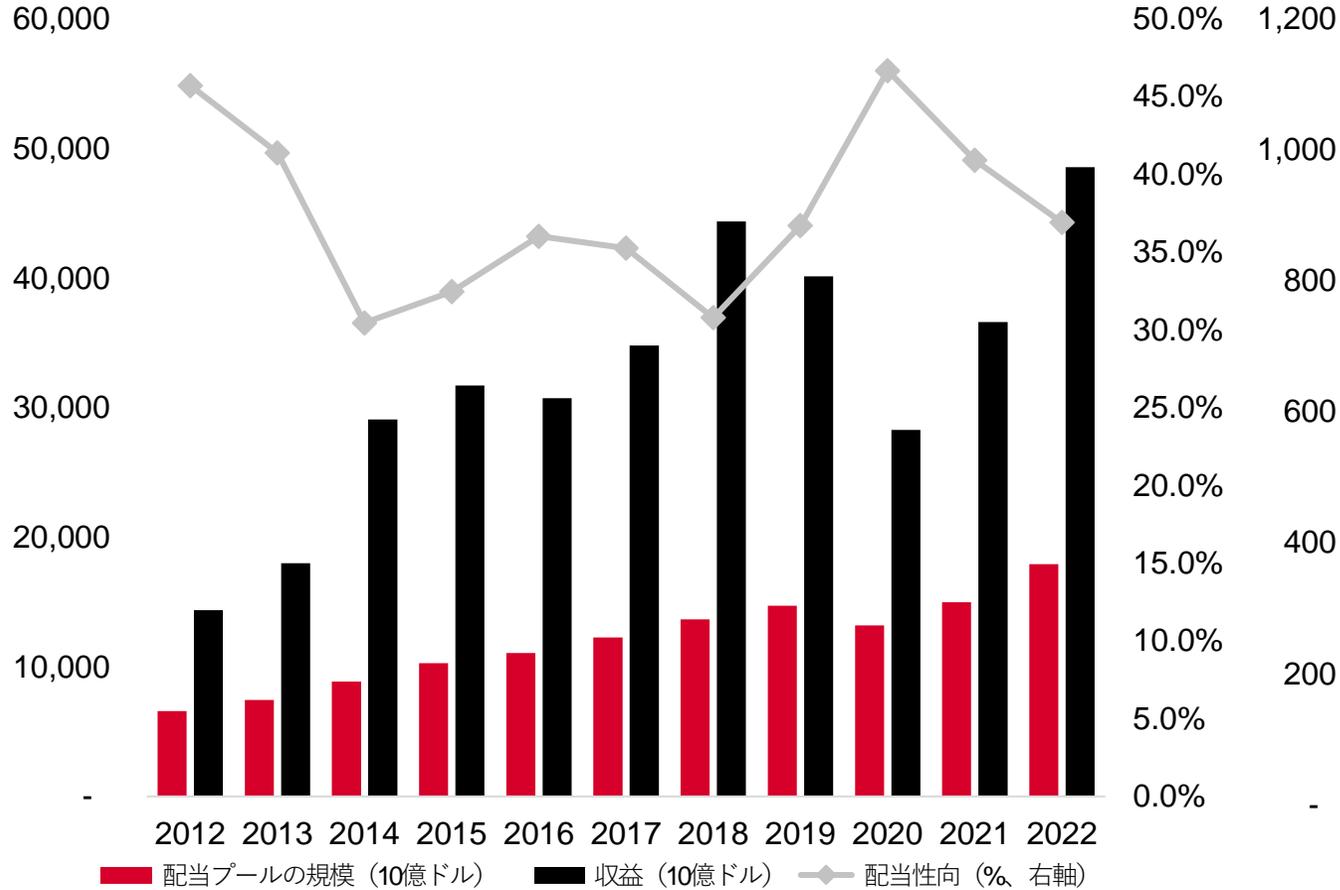


# 日本市場の配当戦略

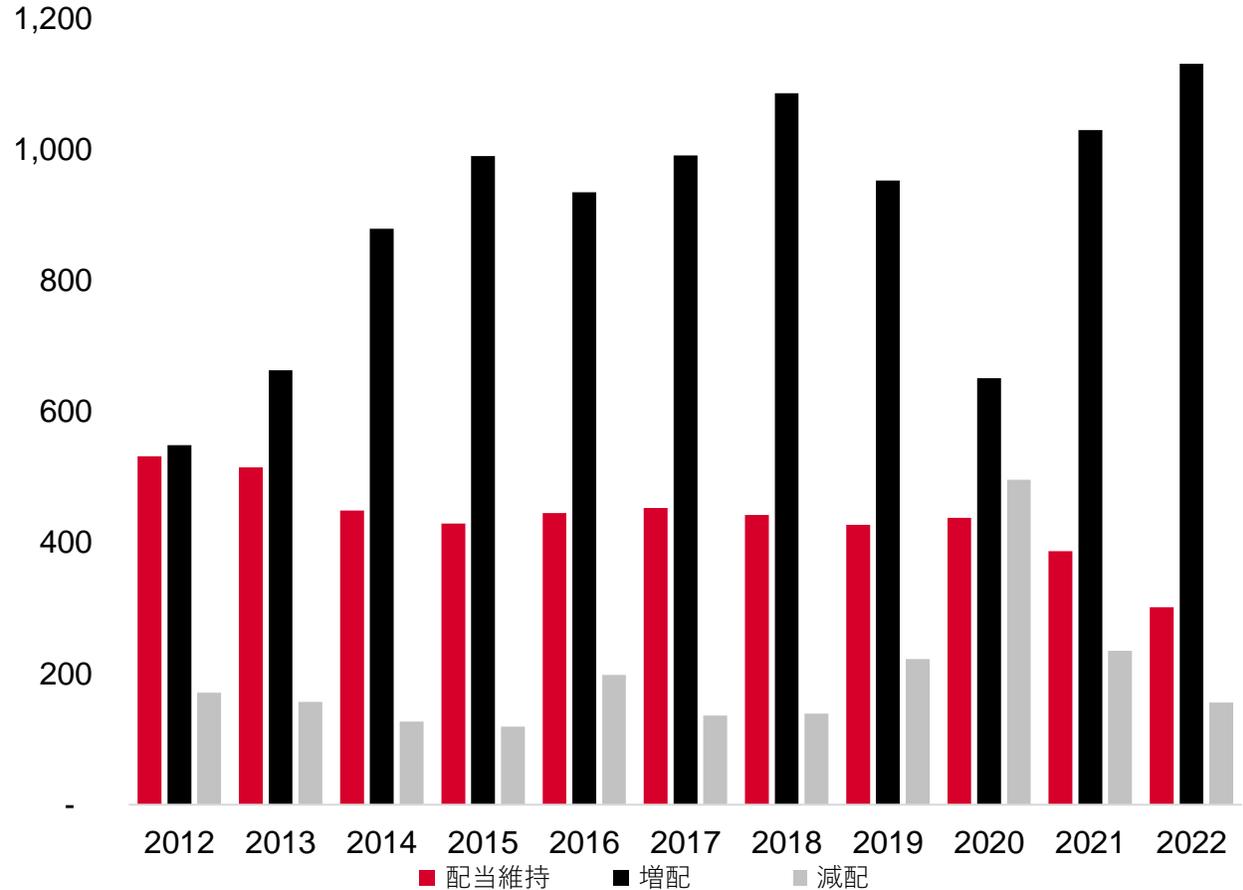
# 日本の配当市場

配当プールは継続的な伸びを示している

配当プール、収益、及び配当性向



配当の前年比変化

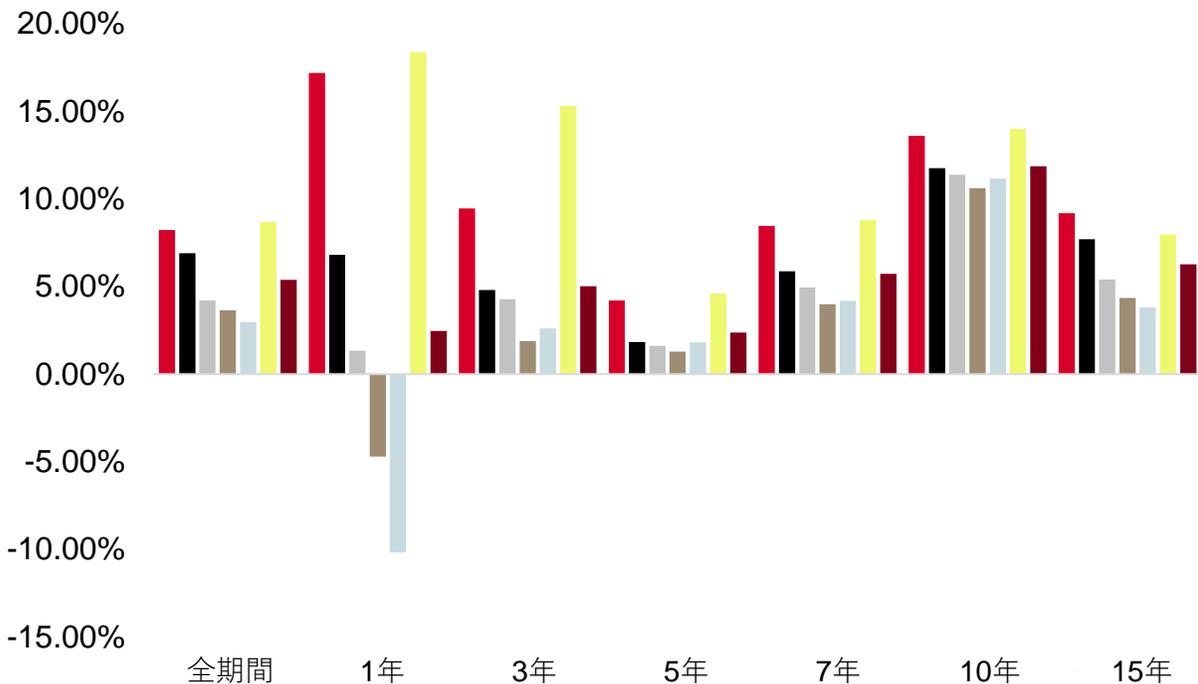


出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ファクトセット。2022年12月31日現在のデータであり、S&P 日本総合指数 (BMI) の企業をカバーしています。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

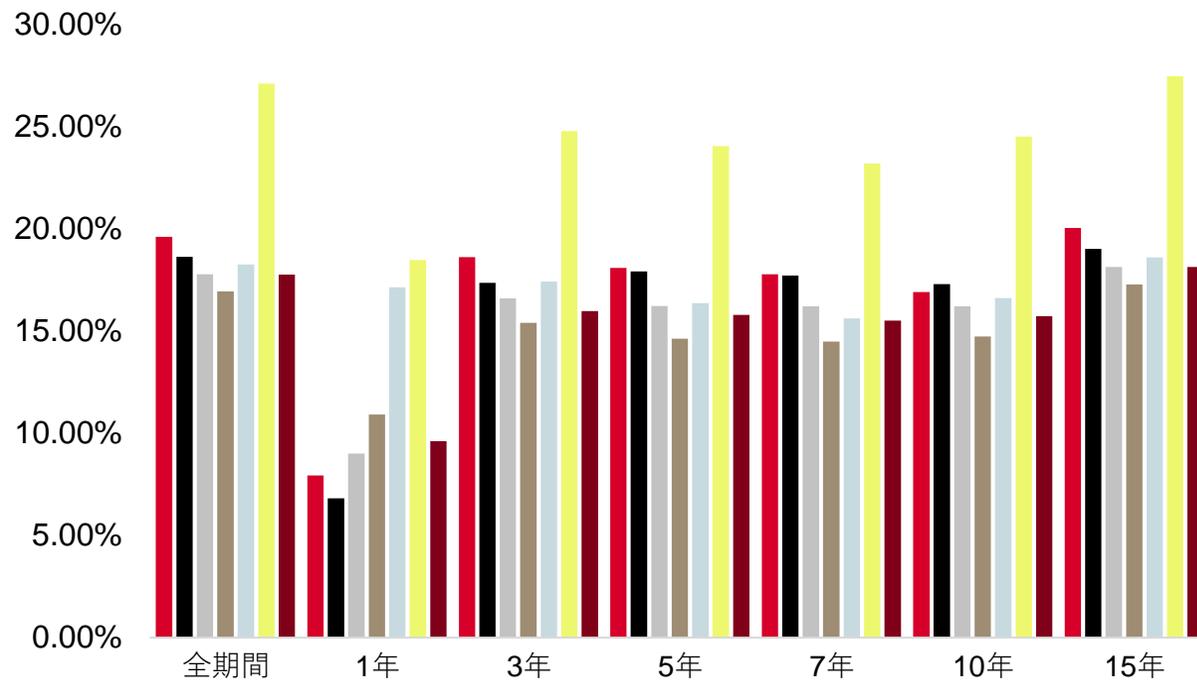
# 日本の高利回り戦略

## 高配当利回り戦略が市場全体をアウトパフォーム

年率複利リターン



年率標準偏差



■ 高利回り ■ 第2四分位数 ■ 中程度利回り ■ 第4四分位数  
 ■ 低利回り ■ 無配株 ■ 日本500

■ 高利回り ■ 第2四分位数 ■ 中程度利回り ■ 第4四分位数  
 ■ 低利回り ■ 無配株 ■ 日本500

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ファクトセット、2007年12月31日から2022年12月31日までのデータ。韓国200種株価指数（KOSPI200）の銘柄の均等加重パフォーマンスを配当ポートフォリオに分類しています。

# S&P/JPX 配当貴族指数

## 指数メソドロジー

ユニバース：TOPIX

時価総額：浮動株調整後時価総額（FMC）が500億円以上

流動性：リバランス参照日までの3ヵ月間の1日当たり平均売買代金（ADVT）が3億円以上

安定性基準：

- 配当の伸び：構成銘柄は**少なくとも10年間**連続で毎年増配しているか、安定した配当を維持している必要がある
- 配当性向：0～100%の間
- 配当利回り：0～10%の間

構成銘柄の選択：直近12ヵ月の配当利回りが最も高い上位50銘柄を選択

構成銘柄のウェイト付け: 利回り加重。ただし、単一の構成銘柄に対して5%、各セクターに対して30%のウェイト上限をそれぞれ設ける

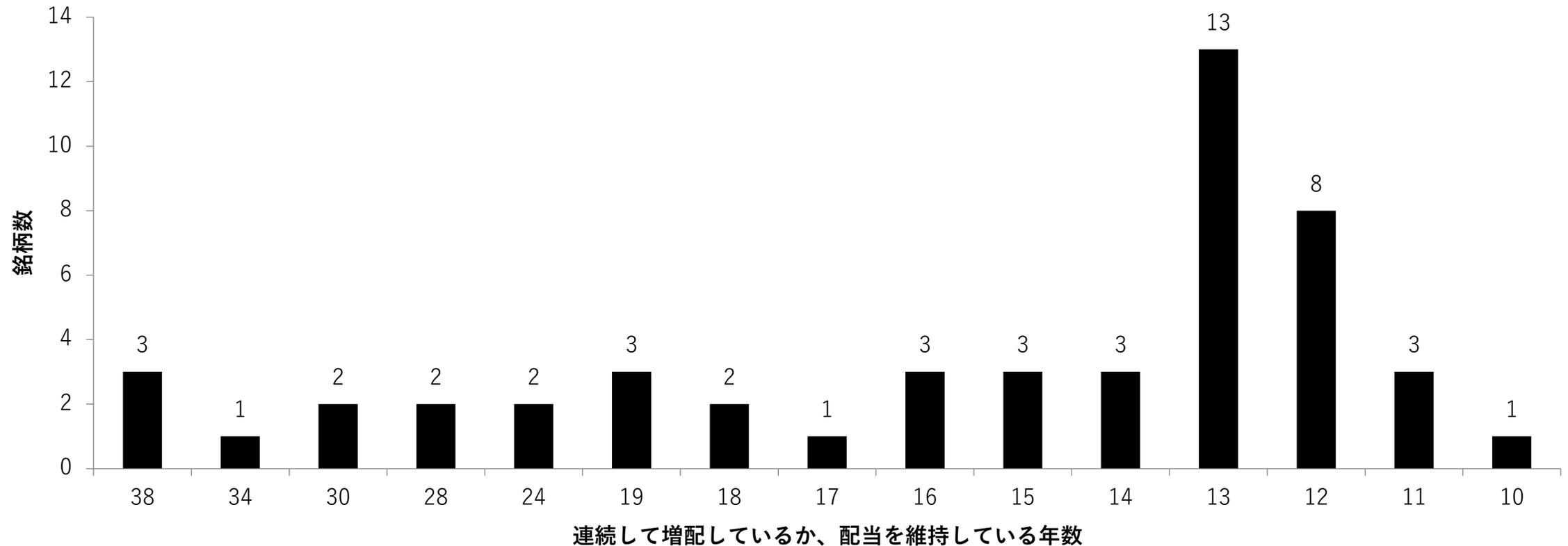
リバランス：毎年7月にリバランスを行い、半年ごとに再ウェイト付けを行う

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2023年9月30日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映していません。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P/JPX 配当貴族指数

## 長期にわたる増配または配当維持

- 指数に採用されるためには、10年間連続して増配しているか、配当を維持している必要があり、この指数の平均増配・配当維持期間は**17.3年**となっている
- さらに、**25年以上にわたり**連続して増配しているか、配当を維持している**構成銘柄が8つ**存在している

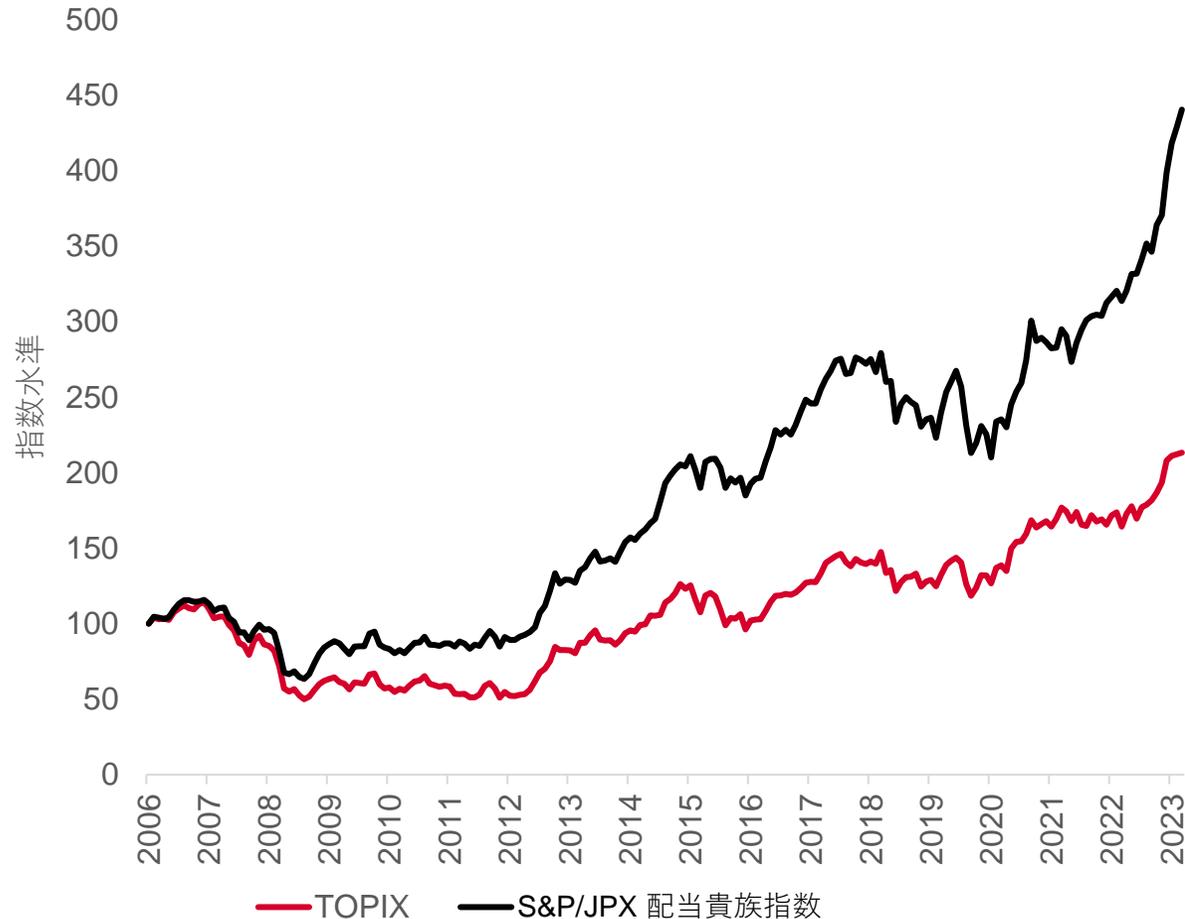


出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ファクトセット。2023年6月30日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P/JPX 配当貴族指数

## 長期にわたりTOPIXをアウトパフォーム

2006年7月31日の水準を100として指数化



日本円、トータル・リターン  
(2023年9月30日現在)

S&P/JPX  
配当貴族指数

TOPIX

年率リターン (%)

1年	40.41	29.80
3年	23.25	15.41
5年	9.54	7.64
10年	12.55	9.32
20年	7.69	6.29
<b>2006年7月31日以降</b>	<b>9.02</b>	<b>4.51</b>

年率ボラティリティ (%)

1年	8.19	10.38
3年	11.19	12.49
5年	15.57	15.20
10年	13.52	14.63
20年	14.00	16.82
<b>2006年7月31日以降</b>	<b>15.08</b>	<b>17.17</b>

リターン/ボラティリティ

1年	4.93	2.87
3年	2.08	1.23
5年	0.61	0.50
10年	0.93	0.64
20年	0.55	0.37
<b>2006年7月31日以降</b>	<b>0.60</b>	<b>0.26</b>

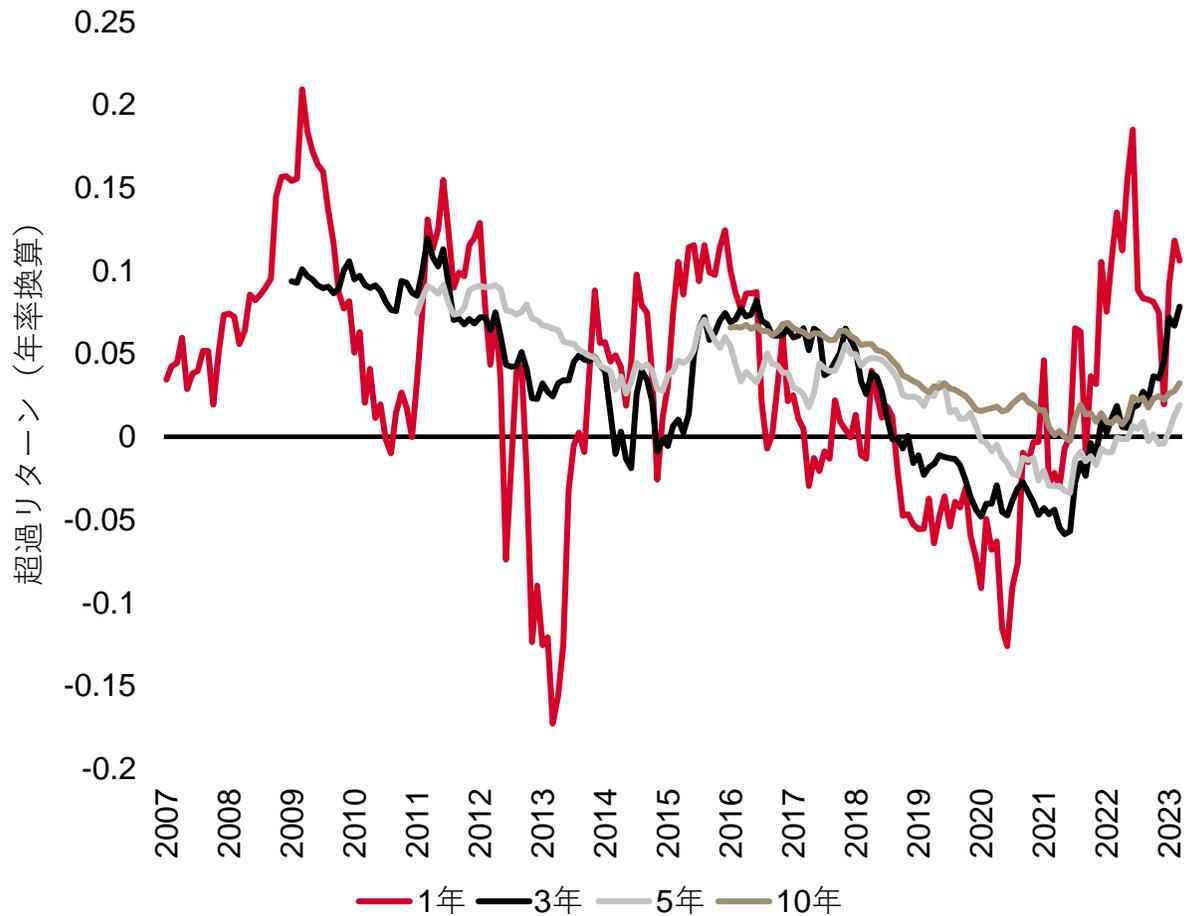
S&P Dow Jones  
Indices

A Division of S&P Global

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2006年7月31日から2023年9月30までのデータ。指数のパフォーマンスは日本円建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P/JPX 配当貴族指数

## TOPIXに対するローリング・リターン

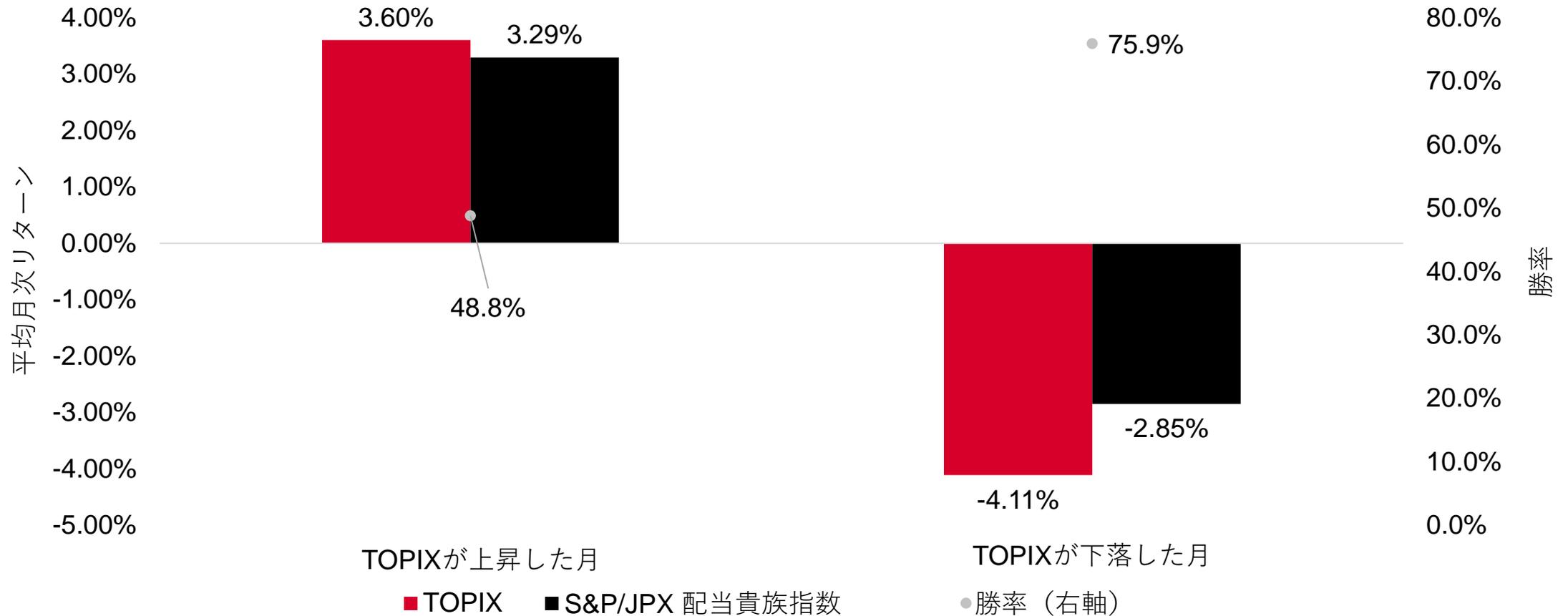


	1年 ローリング	3年 ローリング	5年 ローリング	10年 ローリング
観察回数	195	171	147	87
TOPIXをアウト パフォームした 月の数	136	126	115	85
S&P 500をアウ トパフォームし た月の割合	69.7%	73.7%	78.2%	97.7%
平均超過 リターン	3.7%	3.5%	3.4%	3.5%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2006年7月31日から2023年9月30までのデータ。指数のパフォーマンスは日本円建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P/JPX 配当貴族指数

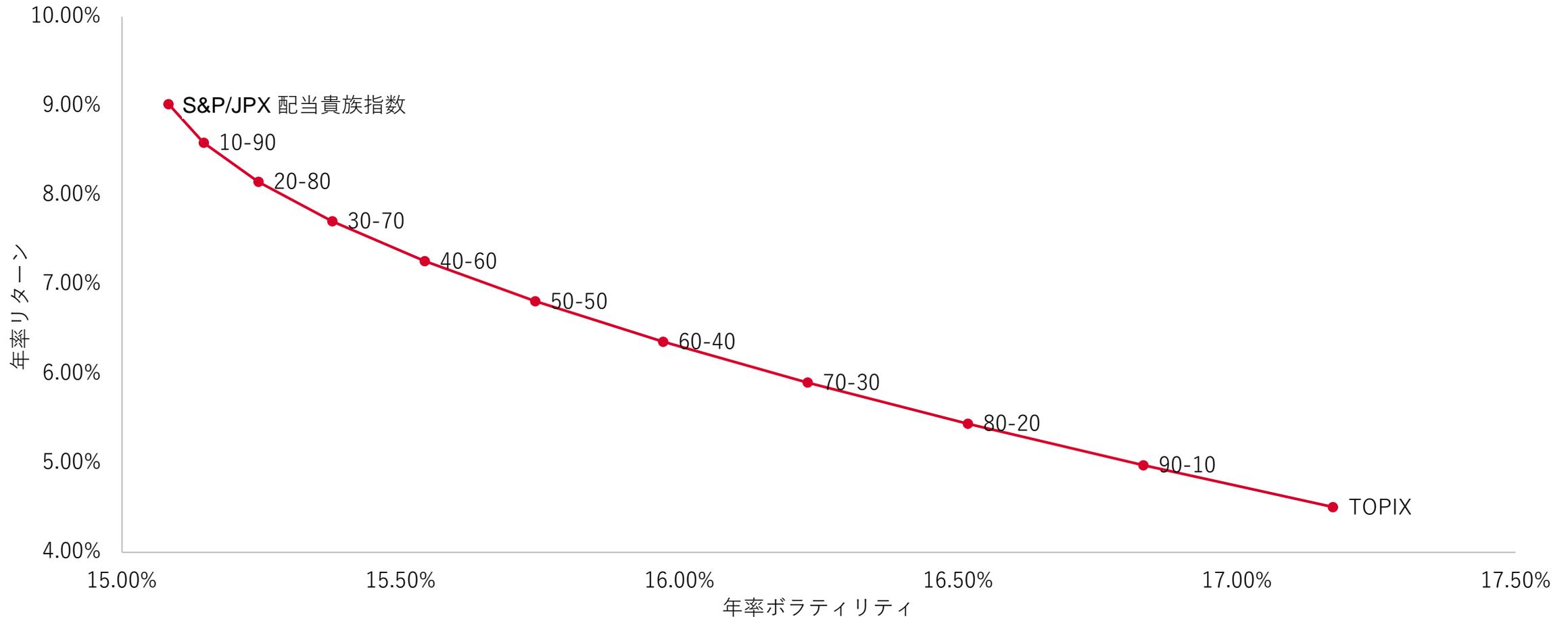
## 市場の上昇/下落局面におけるパフォーマンス



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2006年7月31日から2023年9月30までのデータ。指数のパフォーマンスは日本円建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P/JPX 配当貴族指数

S&P/JPX 配当貴族指数とTOPIXを組み合わせることで、  
リスク/リターン特性が改善



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2006年7月31日から2023年9月30までのデータ。指数のパフォーマンスは日本円建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# テーマ型指数

# 企業の紹介：Kenshoはどのような会社？

## データ・アナリティクス及びマシン・インテリジェンス会社

- マサチューセッツ州ケンブリッジで2013年に創業 – ニューヨーク市及びワシントン DCにオフィスを構える
- 初期投資家には、グーグル、ゴールドマン・サックス、及びNBC ユニバーサル（CNBC）などが含まれる
- S&P グローバルは2018年4月、Kenshoテクノロジーズを買収した
- 同社は人工知能やオルタナティブ・データを活用し、大手グローバル銀行及びヘッジファンドに高度な分析ツールを提供している
- 同社はフィンテック業界内で最も革新的な人工知能会社の1つとして認識されている
- ウォーターズ・ランキングスで2023年のベスト人工知能（AI）テクノロジー・プロバイダーに選ばれた



世界で最も革新的な  
非公開企業の1社  
「テクノロジー・パイオ  
ニア」に選出  
世界経済フォーラム



世界で最も有望な  
AI企業100社  
「AI 100」に選出  
CB インサイト



フィンテック業界で  
最も革新的な非公開  
企業50社「フィン  
テック50」に選出  
フォーブス



フィンテック業界で  
最も有望な上位5社に選出  
フォーチュン

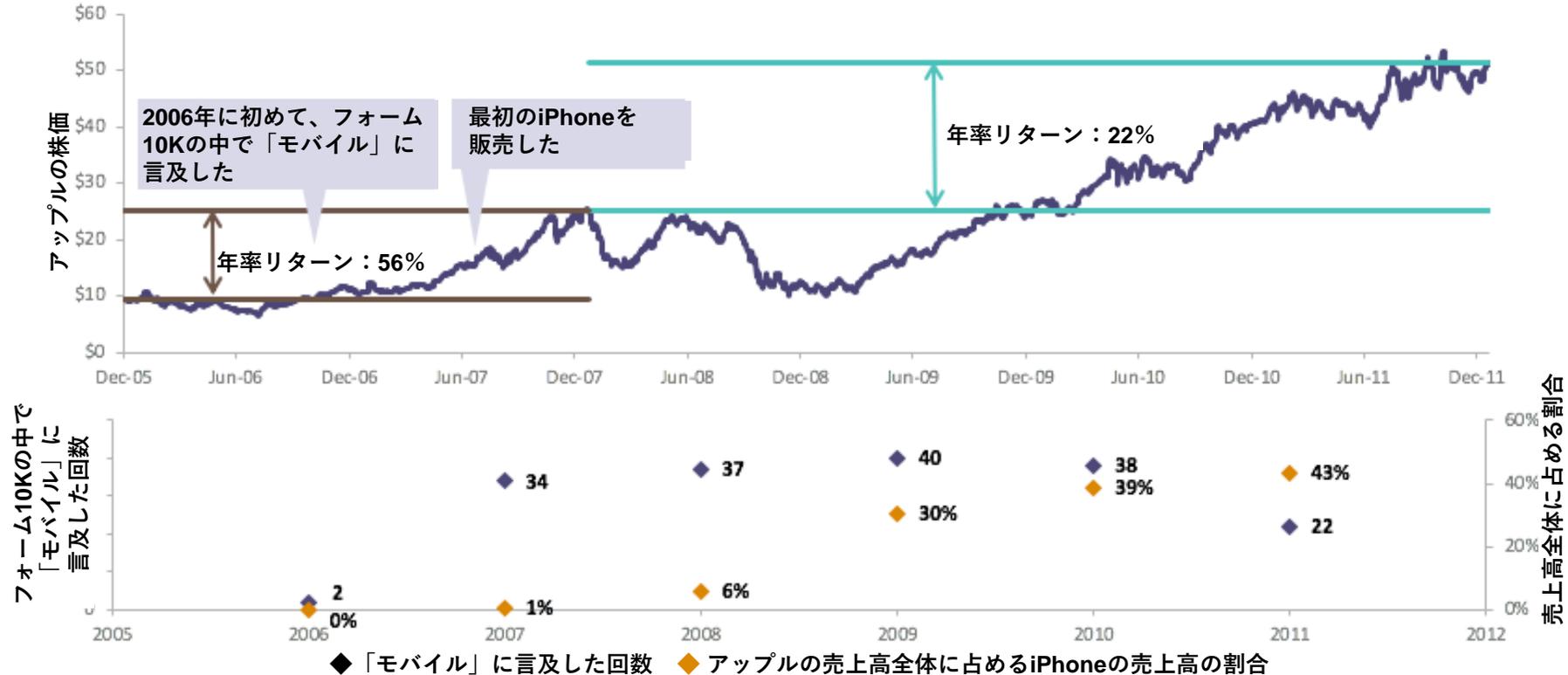


ベストAIテクノロジー・  
プロバイダーに選出  
ウォーターズ・  
ランキングス

# 人工知能（AI）を駆使して可能性を追求

## 売上高に反映される前に投資機会を捉える

- アップルは2006年に初めて、米証券取引委員会への提出書類の中で「モバイル」に言及し、2007年にiPhoneを発売した
- iPhoneの売上高は2009年まで、売上高全体の10%未満であった – アップルの株価は一時、年率56%のリターンを生み出し、その後は年率22%のリターンを生み出した
- オルタナティブ・データは、先を見越して上昇局面を完全に捉える機会を提供する



# S&P Kenshoニュー・エコノミー指数の紹介

## 第四次産業革命によって提供される投資機会

革新的なイノベーションと成長を理解し、これらを正確に捉えるための包括的な枠組み –  
21世紀の産業セクター

### 連動している指数

ニュー・エコノミー・コンポジット (KNEX) ^#

ニュー・エコノミー・セレクト (KNESLX) ^

#### セクター

インテリジェント・インフラストラクチャー(KINFRA)#	⑩ ⑲
スマート輸送(KMOVE)#	⑦ ⑪ ⑳ ㉑
フューチャー・セキュリティ(KSECURE)#	① ② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑨
クリーン・パワー(KPOWER)#	③ ⑧
ファイナル・フロンティア(KEXPLORE)#	① ⑦
フューチャー・コミュニケーション(KCONNECT)	⑨ ⑫ ⑬
ニュー・バンキング(KFIN)^	⑫ ⑬ ⑭
ヒューマン・エボリューション(KEVOLVE)	② ⑥ ⑨ ⑮ ⑯ ⑰
アドバンスド・マニュファクチャリング(KMAKE)	② ⑨ ⑯ ⑰
持続可能な食料(KSTAPLE)	① ② ⑦ ⑭ ⑮ ⑰

#### サブセクター

① スペース(KMARS)^	⑭ 持続可能農業(KFARM)
② ロボット工学(KBOTS)^	⑮ 遺伝子工学(KDNA)^
③ クリーン・エネルギー(KENERGY)*	⑯ 3Dプリント(KDDDP)^
④ サイバー・セキュリティ(KCYBER)*	⑰ ナノテクノロジー(KNANO)^
⑤ スマート・ボーダー(KDMZ)*	⑱ スマート・ファクトリー(KFACT)*
⑥ ウェアラブル(KBORG)^	⑲ スマート・グリッド(KGRIDS)*
⑦ ドローン(KDRONE)^	⑳ 高度輸送システム(KATS)*
⑧ クリーンテック(KCLEAN)^	㉑ 電気自動車(KEV)^
⑨ バーチャル・リアリティ(KVR)^	㉒ オルタナティブ・ファイナンス(KALTFIN)*
⑩ スマート・ビルディング(KHOME)*	㉓ フューチャー・ペイメント(KPAY)*
⑪ 自動運転車(KCARS)^	㉔ 分散台帳(KLEDGER)*
⑫ デジタル・コミュニティ(KSOCIAL)*	㉕ デジタル・ヘルス(KDOC)*
⑬ エンタープライズ・コラボレーション(KTEAM)^	

# : ステート・ストリートのSPDRsが連動

^ : MUKAM eMAXISが連動

\*その他のファンドが連動

# リサーチ・コンテンツ

**配当の持続可能性とクオリティを重視する配当戦略 – ダウ・ジョーンズ 配当100指数：**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/education/article/dividend-strategy-with-quality-yields-the-dow-jones-dividend-100-indices>

**S&P 配当王族指数のTalkingPoints：** <https://www.spglobal.com/spdji/en/education/article/talkingpoints-sp-dividend-monarchs-index/>

**S&P 500 配当貴族指数：安定した配当収入の重要性**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/research/article/a-fundamental-look-at-sp-500-dividend-aristocrats>

**S&P Kenshoニュー・エコノミー：テーマ型投資のインデックス運用**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/research/article/the-case-for-indexing-thematics-with-the-sp-kensho-new-economies>

**S&P Kensho水素経済指数：水素経済への移行に伴う投資機会**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/education/article/gauging-opportunities-from-the-hydrogen-economy>

**S&P Kensho電気自動車指数：環境に優しい未来に向けた自動車産業の動き**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/education/article/driving-toward-a-greener-future>

**S&P Kenshoエンタープライズ・コラボレーション指数：在宅勤務が浸透する中で、効率的なコラボレーションを実現する**

<https://www.spglobal.com/spdji/en/education/article/collaborating-efficiently-in-the-rise-of-remote-work>

# 付属資料

# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数

## 指数メソドロジー

### ユニバース

ダウ・ジョーンズ米国総合指数から始める (REITを除く)

以下に従う：

- 時価総額：浮動株調整後時価総額 (FMC) が5億ドル以上
- 流動性：3ヵ月間の1日当たり平均売買代金 (ADVT) が2百万ドル以上

### 配当の選択

配当の支払い：

配当：少なくとも10年間連続で配当を支払っている

配当の選択：

スクリーニングに合格した銘柄を年間配当利回りの高い順にランク付けする

上位半分が指数への採用に適格である

### ファンダメンタル選択

次に、**ファンダメンタル指標**のコンポジット・スコアに基づいて銘柄をランク付けする：

- キャッシュ・フロー対負債総額比率
- 自己資本利益率 (ROE)
- 配当利回り
- 5年間の配当の伸び率

構成銘柄として**上位100銘柄**を選択する

### リバランス及びウェイト付け

**浮動株調整後時価総額 (FMC)**により構成銘柄のウェイトを設定する

ただし、以下の上限ルールに従う：

単一銘柄のウェイト上限を4%とする

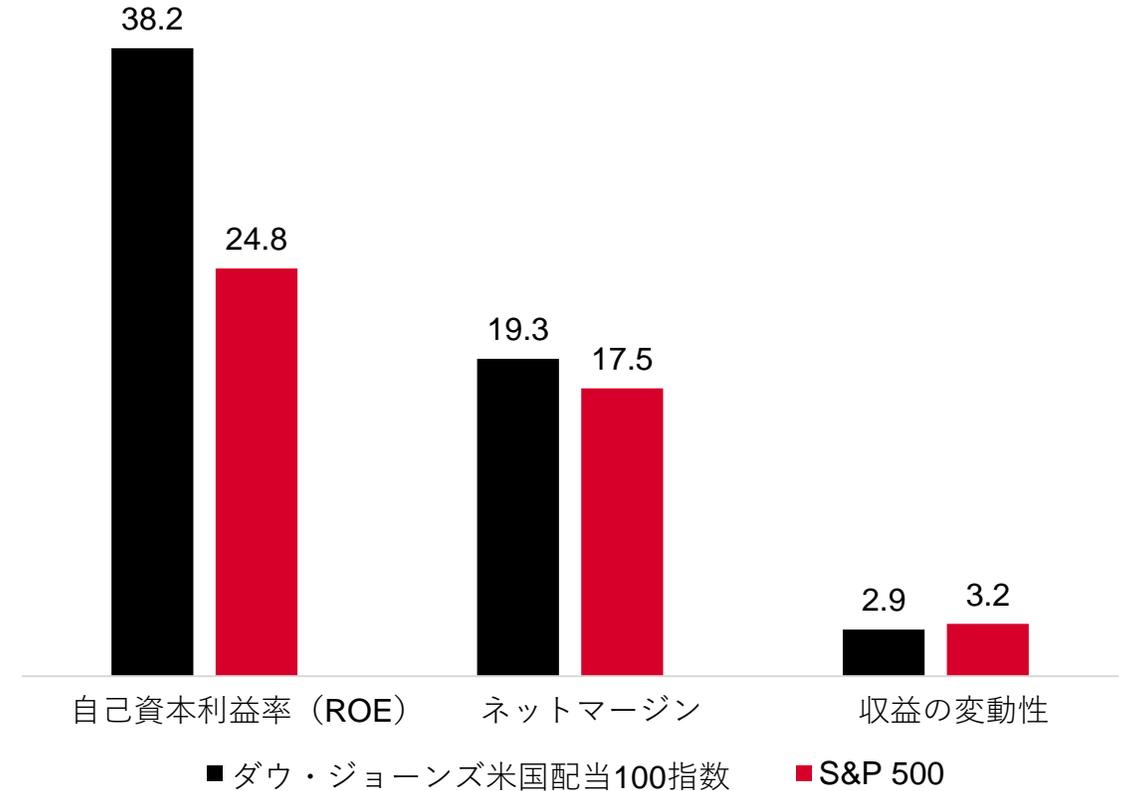
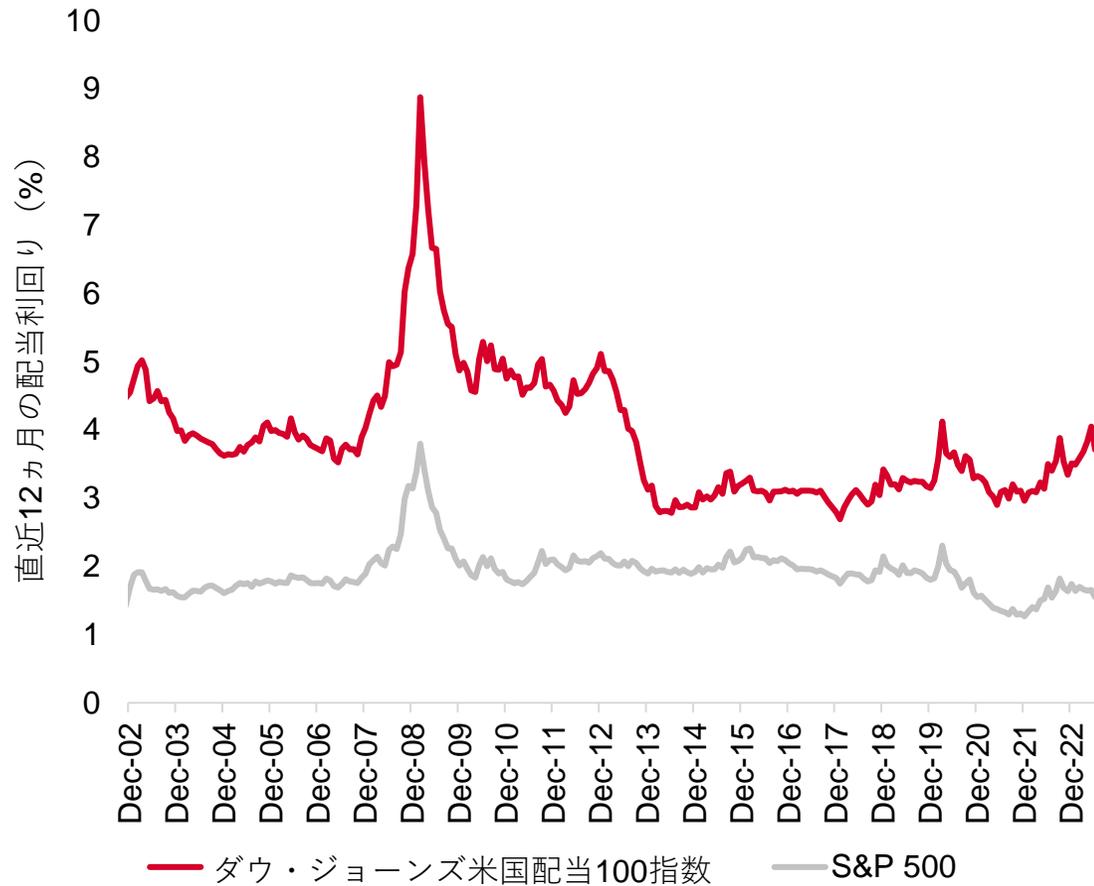
各GICSセクターのウェイト上限を25%とする

毎年3月にリバランスを行う

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ファクトセット。2023年6月30日現在のデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数

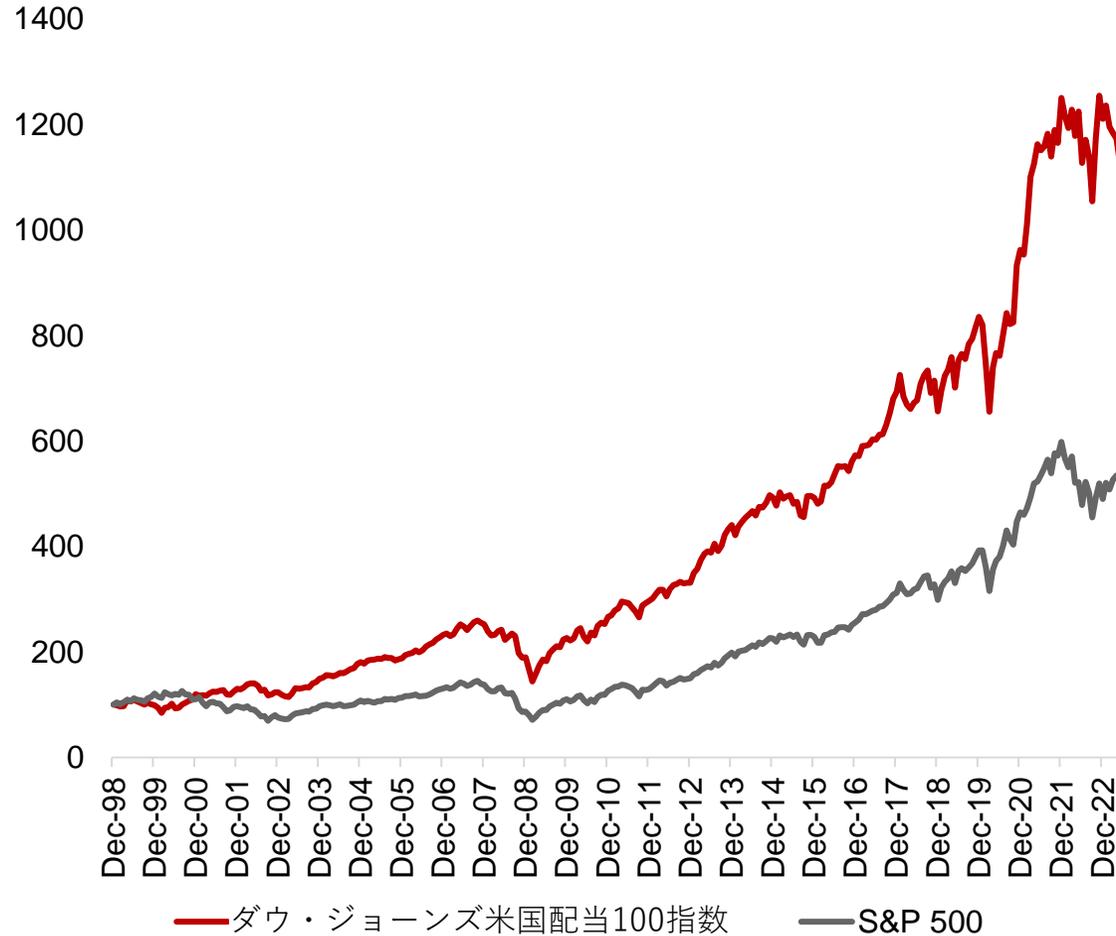
## 配当利回りが高く、クオリティ指標が改善



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ファクトセット。2002年12月31日から2023年6月30日までの配当利回りデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください

# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数

長期にわたりS&P 500をアウトパフォーム



ダウ・ジョーンズ  
米国配当100指数 S&P 500

年率リターン (%)		
1年	5.21	19.59
3年	15.91	14.60
5年	11.85	12.31
7年	11.98	13.38
10年	11.81	12.86
15年	11.79	10.88
<b>1998年12月31日以降</b>	<b>10.62</b>	<b>7.38</b>
年率ボラティリティ (%)		
1年	18.78	20.58
3年	17.08	18.19
5年	18.07	18.79
7年	15.82	16.31
10年	14.42	14.93
15年	15.32	16.14
<b>1998年12月31日以降</b>	<b>14.40</b>	<b>15.35</b>
リターン/ボラティリティ		
1年	0.28	0.95
3年	0.93	0.80
5年	0.66	0.65
7年	0.76	0.82
10年	0.82	0.86
15年	0.77	0.67
<b>1998年12月31日以降</b>	<b>0.74</b>	<b>0.48</b>

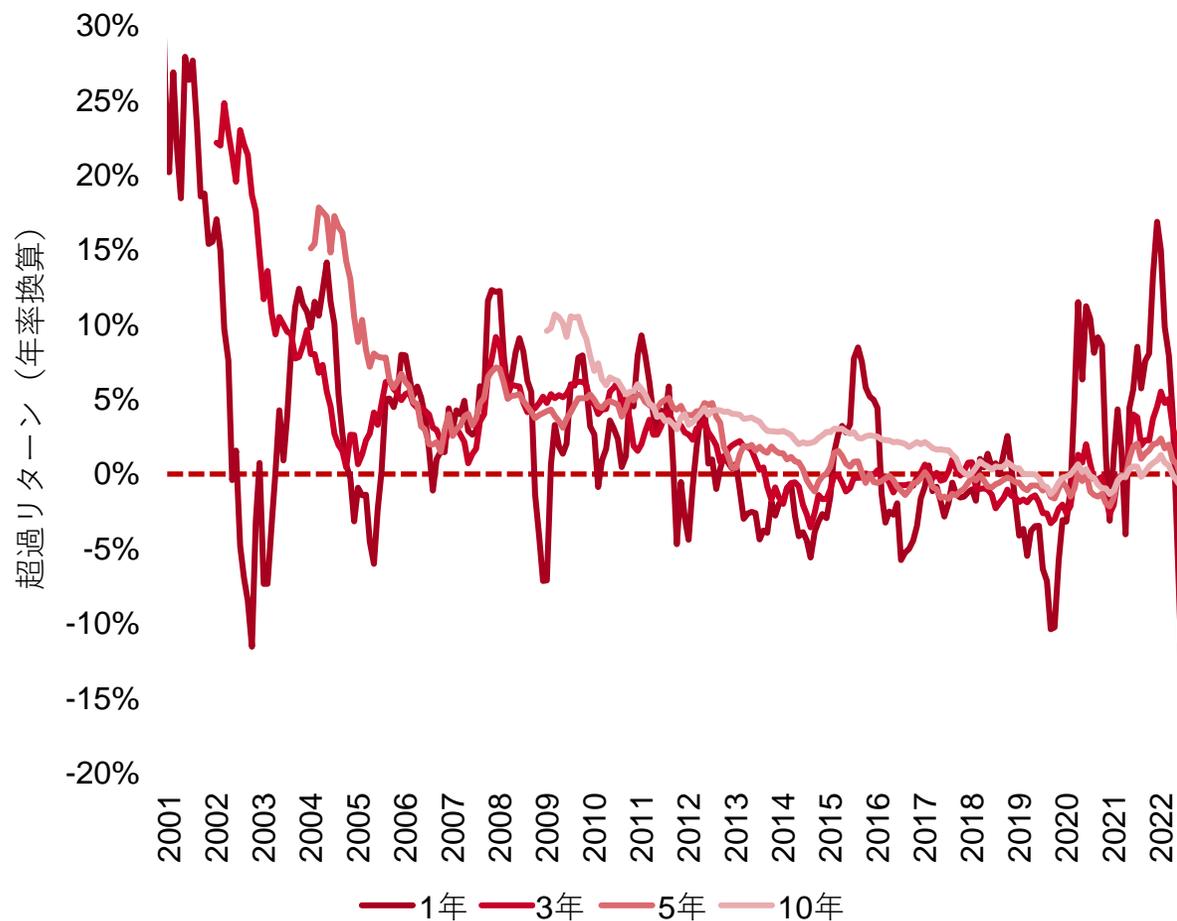
S&P Dow Jones  
Indices

A Division of S&P Global

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。1998年12月31日から2023年6月30日までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

S&P Dow Jones Indices – For Financial Professionals Only

# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数 S&P 500に対するローリング・リターン

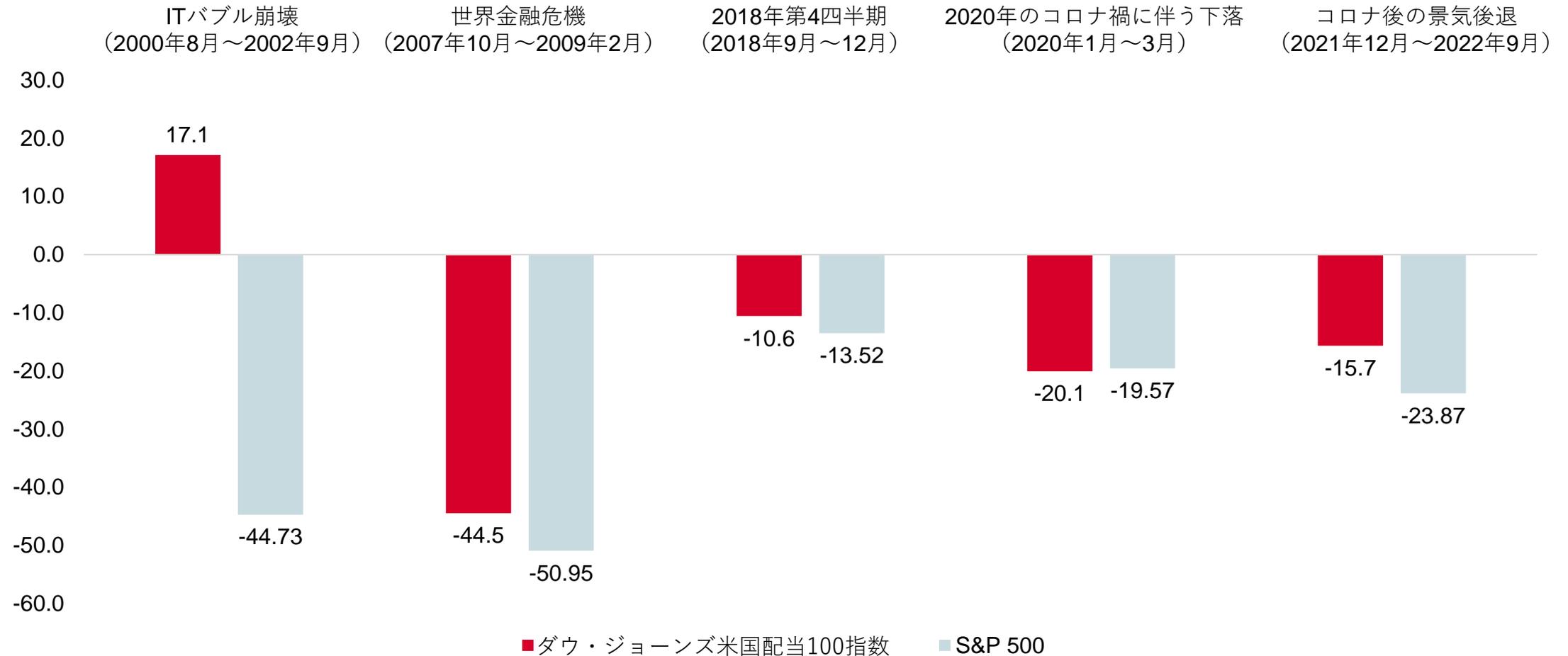


	1年 ローリング	3年 ローリング	5年 ローリング	10年 ローリング
観察回数	271	247	223	163
S&P 500をアウトパフォームした月の数	173	171	153	136
S&P 500をアウトパフォームした月の割合	63.8%	<b>69.2%</b>	<b>68.6%</b>	<b>83.4%</b>
平均超過リターン	4.4%	3.2%	<b>2.8%</b>	<b>2.7%</b>

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2000年12月31日から2023年6月30日までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

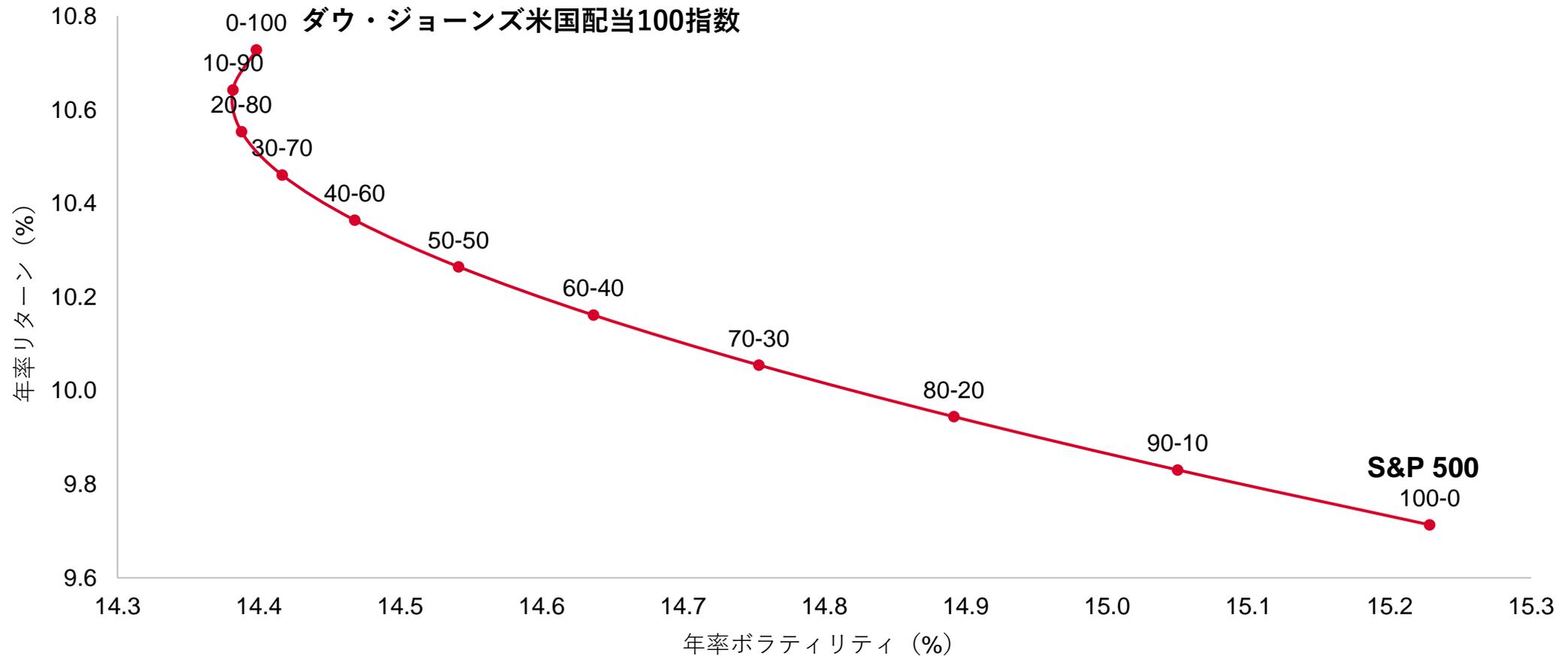
# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数

## 市場の下落局面でS&P 500をアウトパフォーム



# ダウ・ジョーンズ米国配当100指数

ダウ・ジョーンズ米国配当100指数とS&P 500を組み合わせることで、リスク/リターン特性が改善



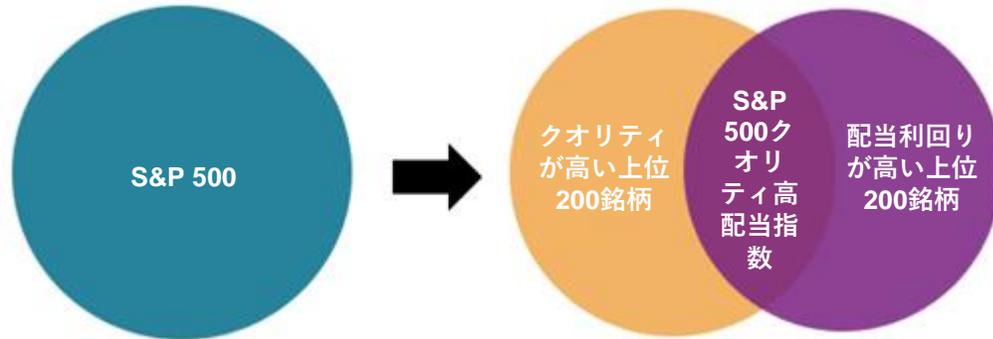
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2005年4月30日から2023年6月30日までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

# S&P 500クオリティ高配当指数

S&P 500クオリティ高配当指数は、配当利回りが高い優良株に連動することを目指している – この指数では、S&P 500の中でクオリティ・スコア及び配当利回りが高い上位200銘柄を選択する

## メソドロジー・スナップショット

ユニバース	S&P 500
構成銘柄の選択	以下の両方の基準を満たす銘柄を選択する： 1) 指数の中でクオリティ・スコアが上位200以内にランクインしていること 2) 指数ユニバースの中で年間配当利回りが上位200以内にランクインしていること
ウェイト付け	均等加重
ウェイト上限	各GICSセクターのウェイト上限を25%とする
リバランス	6月と12月の年2回

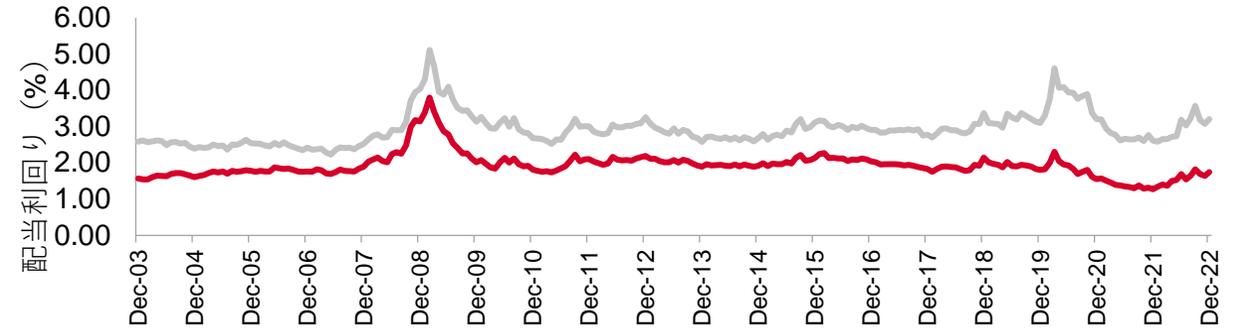


出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2022年12月31日現在のデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

S&P Dow Jones Indices

A Division of S&P Global

## 配当利回り及びパフォーマンス



米ドル、トータル・リターン (2022年12月31日現在)

	S&P 500	S&P 500クオリティ高配当指数
--	---------	-------------------

年率リターン (%)	S&P 500	S&P 500クオリティ高配当指数
1年	-18.11	-0.31
3年	7.66	8.93
5年	9.42	8.56
10年	12.56	13.09
1996年12月31日以降	8.53	12.08
年率ボラティリティ (%)	S&P 500	S&P 500クオリティ高配当指数
3年	21.16	22.98
5年	18.69	20.30
10年	14.77	16.06
1996年12月31日以降	15.71	15.67
リターン/ボラティリティ	S&P 500	S&P 500クオリティ高配当指数
3年	0.36	0.39
5年	0.50	0.42
10年	0.85	0.82
1996年12月31日以降	0.54	0.77

S&P Dow Jones Indices – For Financial Professionals Only

# General Disclaimer

© 2023 S&P Dow Jones Indices. All rights reserved. S&P, S&P 500, SPX, SPY, The 500, US500, US 30, S&P 100, S&P COMPOSITE 1500, S&P 400, S&P MIDCAP 400, S&P 600, S&P SMALLCAP 600, S&P GIVI, GLOBAL TITANS, DIVIDEND ARISTOCRATS, Select Sector, S&P MAESTRO, S&P PRISM, S&P STRIDE, GICS, SPIVA, SPDR, INDEXOLOGY, iTraxx, iBoxx, ABX, ADBI, CDX, CMBX, MBX, MCDX, PRIMEX, HHPI and SOVX are trademarks of S&P Global, Inc. (“S&P Global”) or its affiliates. DOW JONES, DJIA, THE DOW and DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE are trademarks of Dow Jones Trademark Holdings LLC (“Dow Jones”). These trademarks together with others have been licensed to S&P Dow Jones Indices LLC. Redistribution or reproduction in whole or in part are prohibited without written permission of S&P Dow Jones Indices LLC. This document does not constitute an offer of services in jurisdictions where S&P Dow Jones Indices LLC, S&P Global, Dow Jones or their respective affiliates (collectively “S&P Dow Jones Indices”) do not have the necessary licenses. Except for certain custom index calculation services, all information provided by S&P Dow Jones Indices is impersonal and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. S&P Dow Jones Indices receives compensation in connection with licensing its indices to third parties and providing custom calculation services. Past performance of an index is not an indication or guarantee of future results.

It is not possible to invest directly in an index. Exposure to an asset class represented by an index may be available through investable instruments based on that index. S&P Dow Jones Indices does not sponsor, endorse, sell, promote or manage any investment fund or other investment vehicle that is offered by third parties and that seeks to provide an investment return based on the performance of any index. S&P Dow Jones Indices makes no assurance that investment products based on the index will accurately track index performance or provide positive investment returns. S&P Dow Jones Indices LLC is not an investment advisor, and S&P Dow Jones Indices makes no representation regarding the advisability of investing in any such investment fund or other investment vehicle. A decision to invest in any such investment fund or other investment vehicle should not be made in reliance on any of the statements set forth in this document. S&P Dow Jones Indices is not an investment adviser, commodity trading advisor, commodity pool operator, broker dealer, fiduciary, promoter” (as defined in the Investment Company Act of 1940, as amended), “expert” as enumerated within 15 U.S.C. § 77k(a) or tax advisor. Inclusion of a security, commodity, crypto currency or other asset within an index is not a recommendation by S&P Dow Jones Indices to buy, sell, or hold such security, commodity, crypto currency or other asset, nor is it considered to be investment advice or commodity trading advice.

These materials have been prepared solely for informational purposes based upon information generally available to the public and from sources believed to be reliable. No content contained in these materials (including index data, ratings, credit-related analyses and data, research, valuations, model, software or other application or output therefrom) or any part thereof (“Content”) may be modified, reverse-engineered, reproduced or distributed in any form or by any means, or stored in a database or retrieval system, without the prior written permission of S&P Dow Jones Indices. The Content shall not be used for any unlawful or unauthorized purposes. S&P Dow Jones Indices and its third-party data providers and licensors (collectively “S&P Dow Jones Indices Parties”) do not guarantee the accuracy, completeness, timeliness or availability of the Content. S&P Dow Jones Indices Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Content. THE CONTENT IS PROVIDED ON AN “AS IS” BASIS. S&P DOW JONES INDICES PARTIES DISCLAIM ANY AND ALL EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, FREEDOM FROM BUGS, SOFTWARE ERRORS OR DEFECTS, THAT THE CONTENT’S FUNCTIONING WILL BE UNINTERRUPTED OR THAT THE CONTENT WILL OPERATE WITH ANY SOFTWARE OR HARDWARE CONFIGURATION. In no event shall S&P Dow Jones Indices Parties be liable to any party for any direct, indirect, incidental, exemplary, compensatory, punitive, special or consequential damages, costs, expenses, legal fees, or losses (including, without limitation, lost income or lost profits and opportunity costs) in connection with any use of the Content even if advised of the possibility of such damages.

S&P Global keeps certain activities of its various divisions and business units separate from each other in order to preserve the independence and objectivity of their respective activities. As a result, certain divisions and business units of S&P Global may have information that is not available to other business units. S&P Global has established policies and procedures to maintain the confidentiality of certain non-public information received in connection with each analytical process.

In addition, S&P Dow Jones Indices provides a wide range of services to, or relating to, many organizations, including issuers of securities, investment advisers, broker-dealers, investment banks, other financial institutions and financial intermediaries, and accordingly may receive fees or other economic benefits from those organizations, including organizations whose securities or services they may recommend, rate, include in model portfolios, evaluate or otherwise address..

# Performance Disclosure/Back-Tested Data

The S&P Dividend Monarchs Index was launched on April 24, 2023. The Dow Jones U.S. Dividend 100 Index was launched on August 31, 2023. The S&P/KRX ESG Dividend Opportunities Index was launched on September 5, 2022. All information presented prior to an index's Launch Date is hypothetical (back-tested), not actual performance, and is based on the index methodology in effect on the index launch date. However, when creating back-tested history for periods of market anomalies or other periods that do not reflect the general current market environment, index methodology rules may be relaxed to capture a large enough universe of securities to simulate the target market the index is designed to measure or strategy the index is designed to capture. For example, market capitalization and liquidity thresholds may be reduced. In addition, forks have not been factored into the back-test data with respect to the S&P Cryptocurrency Indices. For the S&P Cryptocurrency Top 5 & 10 Equal Weight Indices, the custody element of the methodology was not considered; the back-test history is based on the index constituents that meet the custody element as of the Launch Date. Complete index methodology details are available at [spglobal.com/spdji](https://spglobal.com/spdji). Back-tested performance reflects application of an index methodology and selection of index constituents with the benefit of hindsight and knowledge of factors that may have positively affected its performance, cannot account for all financial risk that may affect results and may be considered to reflect survivor/look ahead bias. Actual returns may differ significantly from, and be lower than, back-tested returns. Past performance is not an indication or guarantee of future results.

Please refer to the methodology for the Index for more details about the index, including the manner in which it is rebalanced, the timing of such rebalancing, criteria for additions and deletions, as well as all index calculations. Back-tested performance is for use with institutions only; not for use with retail investors.

S&P Dow Jones Indices defines various dates to assist our clients in providing transparency. The First Value Date is the first day for which there is a calculated value (either live or back-tested) for a given index. The Base Date is the date at which the index is set to a fixed value for calculation purposes. The Launch Date designates the date when the values of an index are first considered live: index values provided for any date or time period prior to the index's Launch Date are considered back-tested. S&P Dow Jones Indices defines the Launch Date as the date by which the values of an index are known to have been released to the public, for example via the company's public website or its data feed to external parties. For Dow Jones-branded indices introduced prior to May 31, 2013, the Launch Date (which prior to May 31, 2013, was termed "Date of introduction") is set at a date upon which no further changes were permitted to be made to the index methodology, but that may have been prior to the Index's public release date.

Typically, when S&P DJI creates back-tested index data, S&P DJI uses actual historical constituent-level data (e.g., historical price, market capitalization, and corporate action data) in its calculations. As ESG investing is still in early stages of development, certain datapoints used to calculate S&P DJI's ESG indices may not be available for the entire desired period of back-tested history. The same data availability issue could be true for other indices as well. In cases when actual data is not available for all relevant historical periods, S&P DJI may employ a process of using "Backward Data Assumption" (or pulling back) of ESG data for the calculation of back-tested historical performance. "Backward Data Assumption" is a process that applies the earliest actual live data point available for an index constituent company to all prior historical instances in the index performance. For example, Backward Data Assumption inherently assumes that companies currently not involved in a specific business activity (also known as "product involvement") were never involved historically and similarly also assumes that companies currently involved in a specific business activity were involved historically too. The Backward Data Assumption allows the hypothetical back-test to be extended over more historical years than would be feasible using only actual data. For more information on "Backward Data Assumption" please refer to the [FAQ](#). The methodology and factsheets of any index that employs backward assumption in the back-tested history will explicitly state so. The methodology will include an Appendix with a table setting forth the specific data points and relevant time period for which backward projected data was used.

Index returns shown do not represent the results of actual trading of investable assets/securities. S&P Dow Jones Indices maintains the index and calculates the index levels and performance shown or discussed but does not manage actual assets. Index returns do not reflect payment of any sales charges or fees an investor may pay to purchase the securities underlying the Index or investment funds that are intended to track the performance of the Index. The imposition of these fees and charges would cause actual and back-tested performance of the securities/fund to be lower than the Index performance shown. As a simple example, if an index returned 10% on a US \$100,000 investment for a 12-month period (or US \$10,000) and an actual asset-based fee of 1.5% was imposed at the end of the period on the investment plus accrued interest (or US \$1,650), the net return would be 8.35% (or US \$8,350) for the year. Over a three-year period, an annual 1.5% fee taken at year end with an assumed 10% return per year would result in a cumulative gross return of 33.10%, a total fee of US \$5,375, and a cumulative net return of 27.2% (or US \$27,200).